

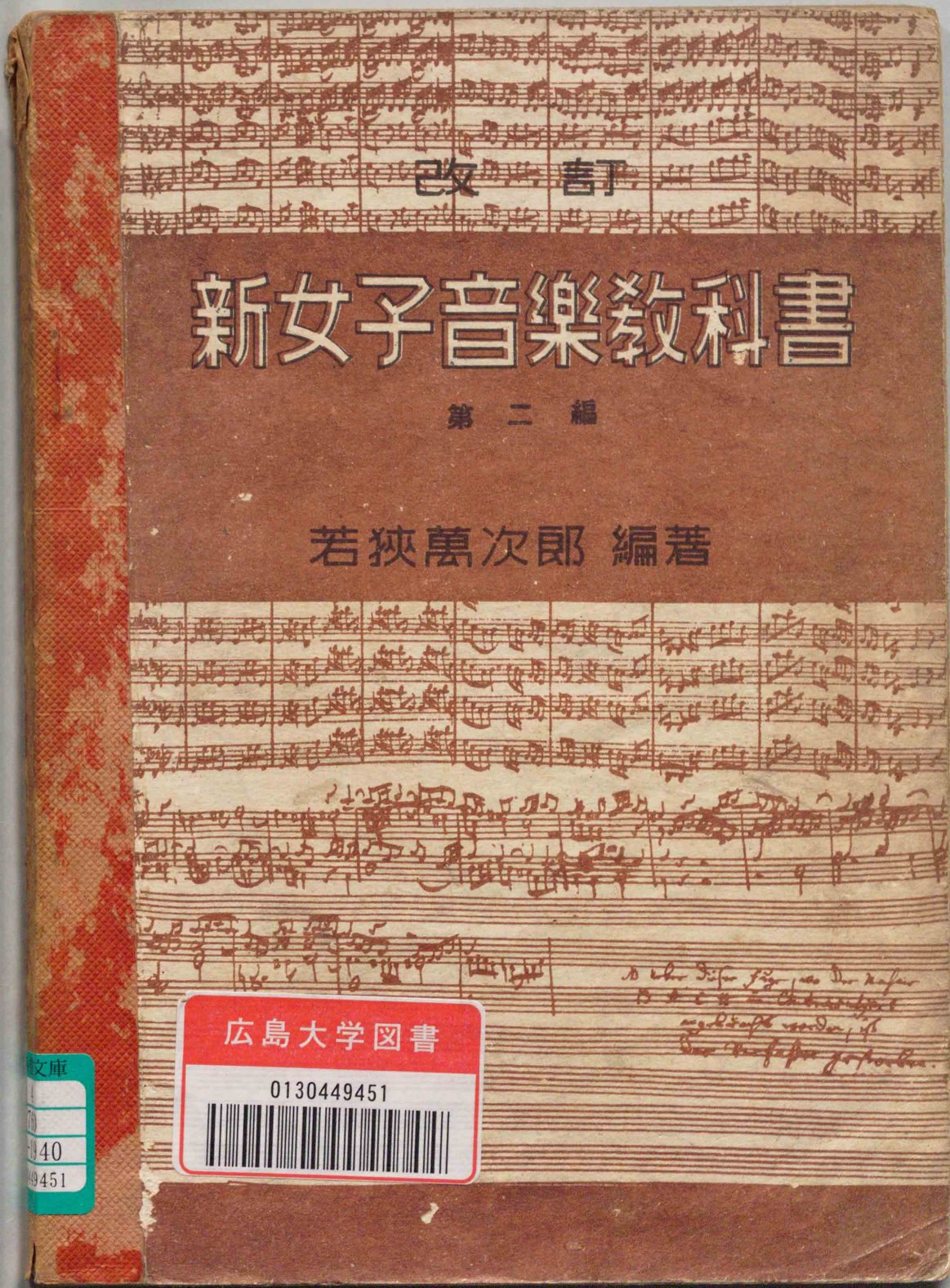
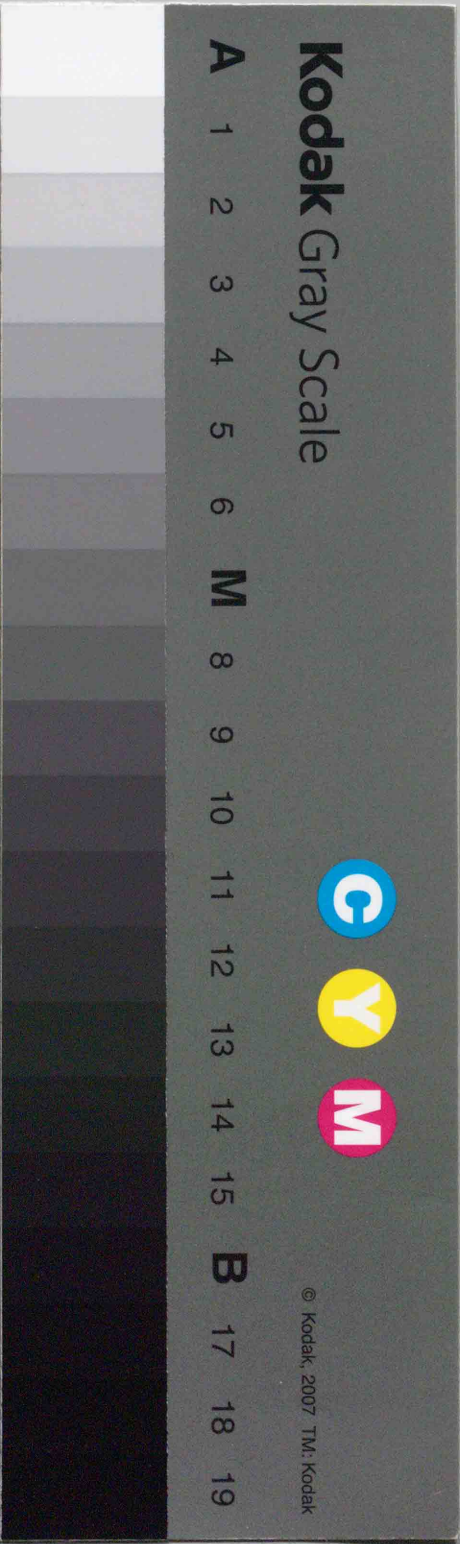
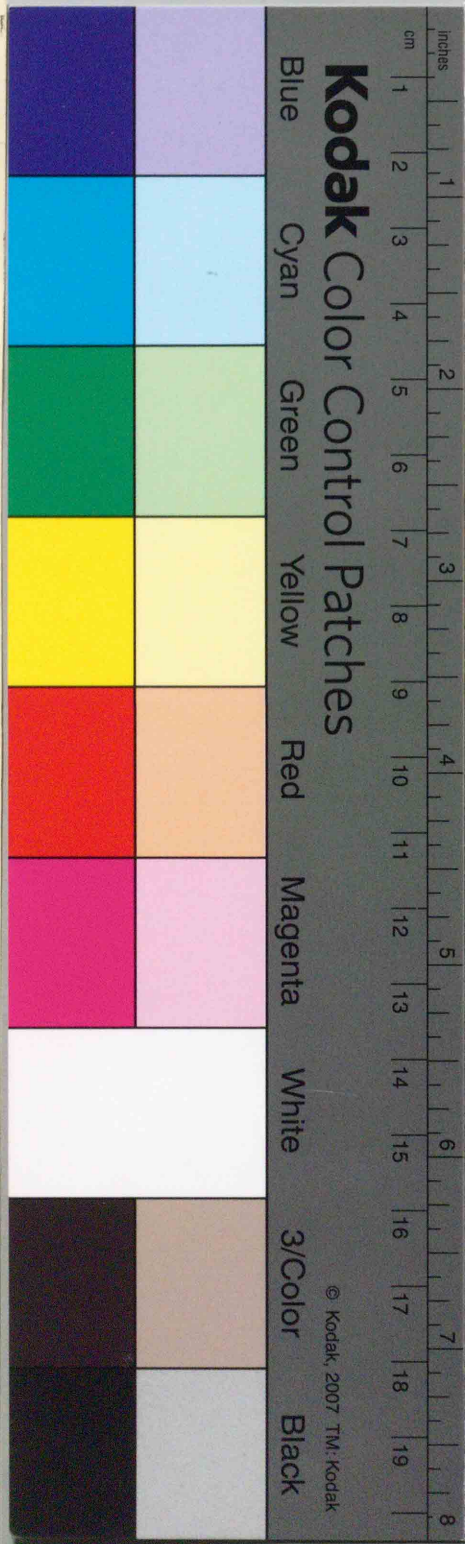
41033

教科書文庫

4
760
42-1940
01304 49451

31

117



中中圖書館

二四五
山石村美惠子

教科書文庫

4

760

42-1940

0130449451

昭和十五年十月一日

文 部 省 檢 定 済

高等女學校音樂科

改 訂

新女子音樂教科書

若狹萬次郎編著

第二編



広島大学図書

0130449451



中央図書館

広島大学図書

0130449451



今更に忠告(四頁) 上へ下へ



ナチンへの時勢

ラールゴウ

シユウマンの書
 無りやまきか
 空の一角と見えて
 入けいせき
 世界
 行進曲
 シユルトの分隊
 シエムルト(介曲)
 シュトマン
 トルコ行進曲

Schubert (奥地利) 歌謡曲及び器楽曲の天才的大作家。代表作は歌謡曲「魔王」「絲車によれるグレンツヘン」 歌謡曲集「美しき水車場の娘」「冬の旅」未完成交響曲「ロ短調」等。

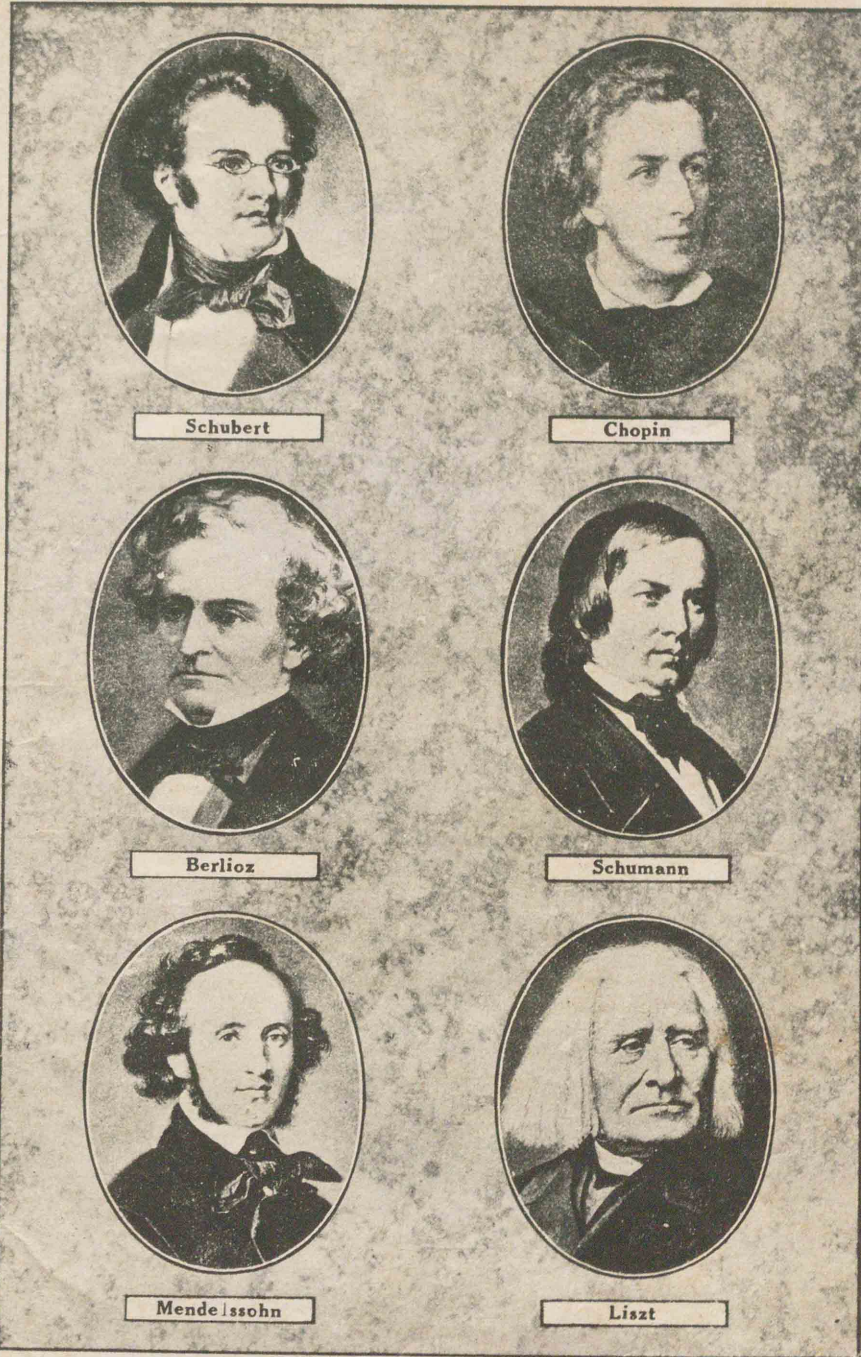
Berlioz (フランス) 交響詩の創始者、歌劇作家。代表作は交響詩「幻想交響曲」一名「或藝術家の生活の挿話」序曲「羅馬の謝肉祭」劇的音楽「フウストの劫罰」「ロメオとジリエット」等。

Mendelssohn-Bartholdy (ドイツ) 美しい旋律に富んだ器楽曲及び聲楽曲の作家。代表作はオラトリオ「聖ポーロ」「豫言者エリヤ」劇音楽「真夏の夜の夢」序曲「ヘブライズ(別名フンガルの洞窟)」「穏かなる海と幸多き航海」ヴァイオリン独奏曲「ホ短調」ピアノ小曲集「無言歌」等。

Chopin (波蘭) ローマン派の大家。ピアノ大家。ピアノ曲の大家。世にピアノの詩人と稱される。代表作はピアノ曲「二十五の前奏曲」「二十七の演奏會用の練習曲」「作品六十四第二のワルツ」「作品七のマツールカ」「作品四十第一のポロネーズ」「作品九第二のノクテルヌ」「作品二十三のバラード」「作品二十九のアンプロンブテ」等。

Schumann (ドイツ) ローマン派の大家。ピアノ曲及び歌謡曲の優れた作家。又評論家。音楽上の天才的詩人である。代表作はピアノ曲「子供情景」「謝肉祭」「森の情景」「交響的練習曲」歌謡曲「女の生涯」等。

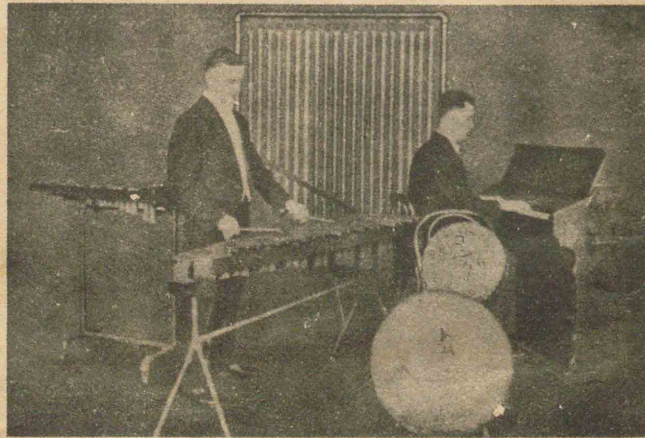
Liszt (匈牙利) 無比のピアノ大家。ピアノ曲及び交響詩の天才的大作家。代表作はピアノ曲「十餘のハンガリア史詩曲」「三つの演奏會用大練習曲」ピアノ小曲集「巡禮の年」交響詩「タソー」「前奏曲」交響曲「ダンテ」等。





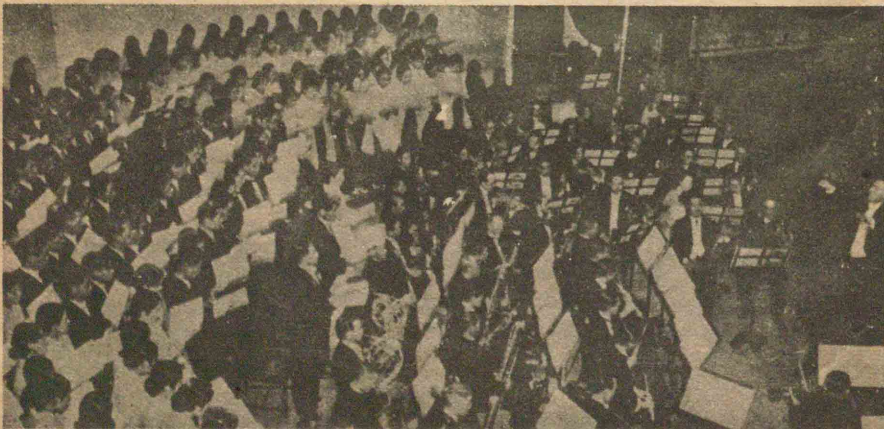
打楽器の演奏圖

シンバル
大太鼓
カスタネット
トランブリントン
小太鼓
ティンパニ



打楽器の演奏圖

チエレスト
支那太鼓
管鐘
鉄琴
木琴



獨唱・合唱及び管絃樂の演奏圖(東京音樂學校合奏團)

緒言

一 本書は曩に編纂した新女子音楽教科書を高等女學校四年制のものとして改訂したものである。

改訂に際しては特に教材の精選と楽曲・歌詞の調和とに留意し、更に歌詞については之を雅正にして藝術的且教育的ならしめんことに努めた。

歌曲を比較的多數に輯録したのは、増加教材或は鑑賞的教材の補充、又は情況による教授者の適切且自由な教材選擇の便益等に資せんが爲である。

一 基本教練・音楽理論等は各學年の程度に應じて適當と認められたものを輯録した。

一 又儀式用唱歌・外國語唱歌・各國國歌・著名音楽家年表・樂式關係用語類纂等は各學年の程度に應じて適當と認められたものを附録として輯録した。

一 終に、本書の編纂にあたつて、多大の援助を與へられた先輩諸大家の厚き好意に對し、深く感謝の意を表する次第である。

昭和十四年九月

編著者識

改 訂
新女子音楽教科書
第 二 編
目 次

基本教練

發聲及音階練習…………… 1
音程練習…………… 3
讀譜練習…………… 3
複音練習…………… 11

歌 曲

月はあぼろ……………^曲14…^歌14
正義の旗風…………… 15…16
雲 雀…………… 17…18
花…………… 19…21
山 彦…………… 22…23
岸 の 櫻…………… 24…23
春の姿秋の調…………… 25…25
子 守 歌 (Mozart) …… 26…27
静 け き 森…………… 28…27

晚 春…………… 29…29
聖 の 御 代…………… 30…30
海 の 歌…………… 31…32
青 空…………… 32…32
寄宿舎の古釣瓶…………… 35…34
茉 莉 花…………… 37…37
登 山…………… 39…38
森の鍛冶屋…………… 41…42
夏の黄昏…………… 43…43
夜 曲…………… 44…45
ヴェルガの舟唄…………… 46…45
樂しき農夫…………… 47…48
古 戦 場…………… 49…49
秋 草…………… 50…50
月 光…………… 51…52
里 の 眺…………… 53…52
子 守 歌 (Brahms) …… 54…54
角 笛…………… 55…55
我 が 友…………… 56…57

花は笑まふ…………… 58…57
暮るる岸邊…………… 59…60
友を送る…………… 61…60
秋の古城…………… 62…62
川邊の草花…………… 63…64
秋の山里…………… 65…66
菩 提 樹…………… 68…67
除夜の鐘…………… 69…70
恩愛の歌…………… 71…70
春よ來れ…………… 72…72
幸 の 調…………… 73…74
春 の 歌…………… 75…74
海 の 曉…………… 77…76
静 夜…………… 79…80
花 月…………… 81…80

樂 典

1. 連音符の用例…………… 82
2. 切分音の例…………… 82
3. 變化記號…………… 83
4. 音 階(其の一)…………… 83
5. 音 程…………… 85
6. 音 階(其の二)…………… 87


7. 音 階(其の三)…………… 90
8. 裝 飾 音…………… 92
9. 反復記號の用例…………… 93
10. 轉 調…………… 93
11. 人聲の區域…………… 94
12. 速度標語の表…………… 94
13. 發想標語並に發想記號の表…………… 95

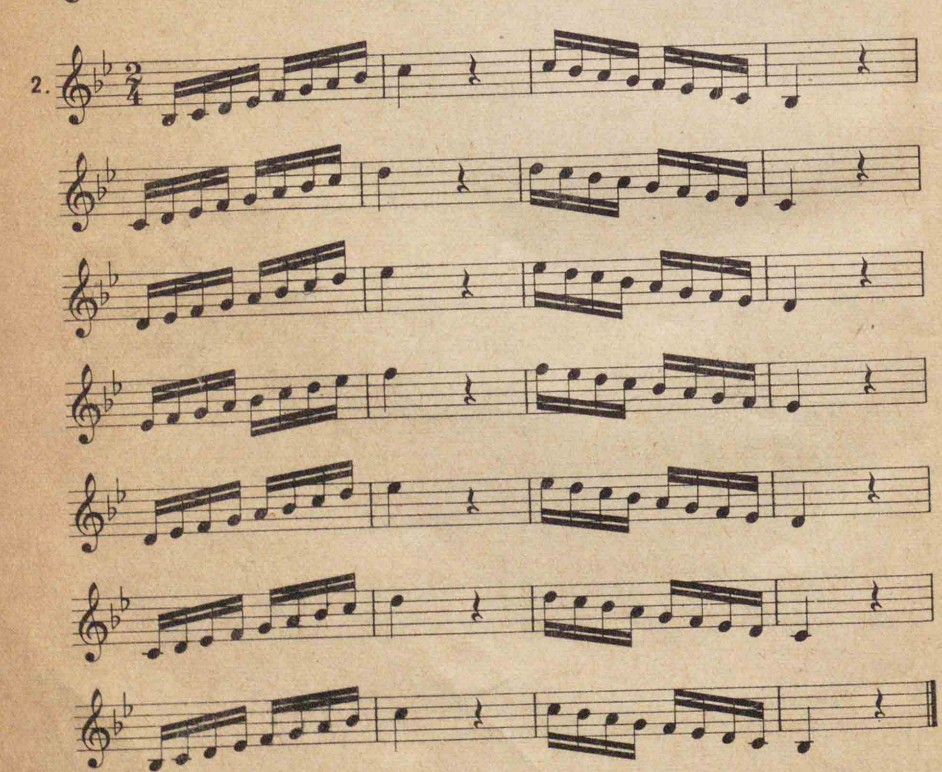
附 錄


(鑑賞參考曲)
葡萄園丁の合唱……………^曲97…^歌98
朝 の 調…………… 99…101
碧きドナウ…………… 102…101
シューベルトの行進曲…………… 105…108


My old Kentucky home. …… 109
If a body find a lesson. …… 111
Old black Joe. …… 112
Massa's in de cold, cold ground. …… 113
Awake from sleep. …… 115
Santa Lucia. …… 116
La Marseillais. …… 117
Deutschland über Alles. …… 119


發聲及び音階練習


1. 

2. 

3. 

4. 

5. 

6. 

音程練習

四度音程

完全 完全 完全 增 完全 完全 完全

1.

2.

讀譜練習

木長調

3.

4.

5.

Verdi 作 歌劇「椿姫」中より

3.

6.

7.

8.

變イ長調

1.

2.

9.

10.

11.

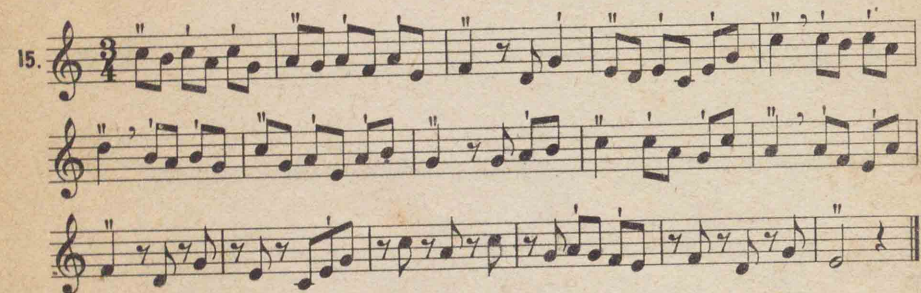
12.

13.

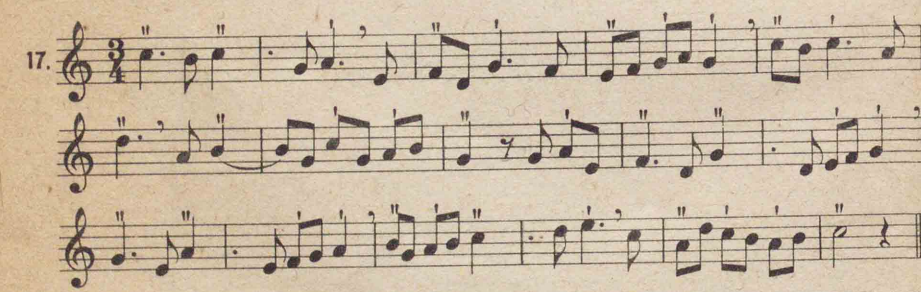
Bizet 作 歌劇「カルメン」中より

3.

14. 

15. 

16. 

17. 

(和聲的短音階) 1 短調
1. 
(旋律的短音階)
2. 
3. 

18. 

19. 

20. 

20. 

木短調
1. 
2. 
3. 

五度音程

完全 完全 完全 完全 完全 完全 减

21.

22.

二 短 調

1.
2.
3.

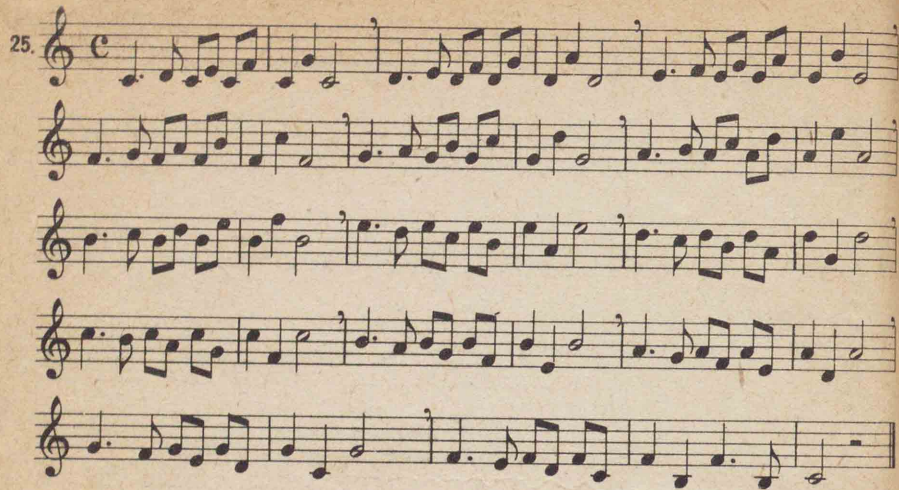
23.

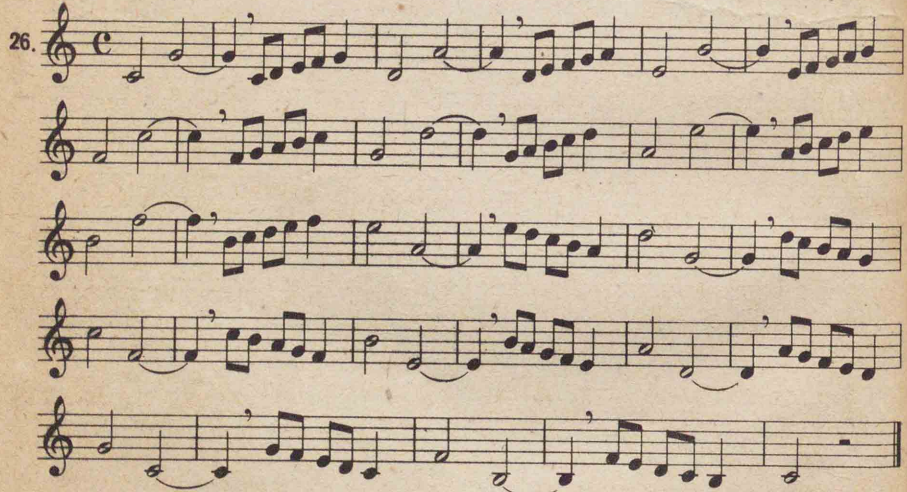
24.

短 調

1.
2.

Chopin 作 (送葬行進曲中より)

25. 

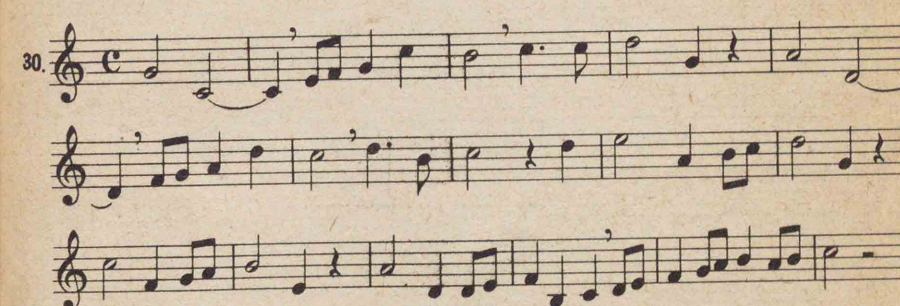
26. 

複音練習
1. 
2. 

27. 

28. 

29. 

30. 

3. 
4. 
5. 
6. 
7. 

31.

32.

33.

34.

35.

8.

9.

月はおぼろ

Andante cantabile.

北 歐 民 謡 曲

一 シ ラ ナ ミ ケ プ リ テ
二 ほ の け き け は ひ や

オ キ ベ ノ イ サ リ ビ キ エ
は ら は ら さ く ら は ち り

ウ ミ シ ツ カ ツ キ オ ボ ロ
は な し づ か つ き お ぼ ろ

花 しづか 月おぼろ	は ら は ら さ く ら は ち り	二 ほ の け き け は ひ や	海 しづか 月おぼろ	沖 べ の い さ り 火 き え	一 白 波 け ぶ り て	月 は お ぼ ろ
------------------	--	---	------------------	---	---------------------------------	-----------------------

水 町 京 子

正義の旗風

Gluck.
編著者 編曲

Andantino.

mf

一 ヤ マ ノ ハイ テ タ ル ア サ ヒ ニ テ リ
二 さ や け き あ し た の す ず か ぜ わ た

ハ エ ハ タ メ ク ワ レ ラ ガ セ イ
れ ば は た め く わ れ ら が せい

キ ノ ミ ハ タ ヨ ホ メ ヨ ー ー イ ー ザ ー
ぎ の み は た よ す す め ー ー い ー ざ ー

mp *mf*

ヤ ア サ ヒ ニ ヤ ミ ノ キ エ サ ル ゴ ト
や む ら く も か ぜ に ち り ゆ く ご と

ク ア タ ハ ナ ビ ー ク ア フ ー ゲ ヨ ト
く あ た は な び ー く わ れ ー ら が ゆ

mp *mf*

モ ヨ ウ ー タ ヘ タ カ ー ク セ イ
く て ひ ー か り み ち ー て せい

キ ノ ミ ハ タ サ ヤ カ ニ ー タ テ
ぎ の み は た さ や か に ー た て

リ ツ ヨ ク タ ダ シ ク イ サ ミ ス ス マ ン
り つ よ く た だ し く い さ み す す ま ん

一 山の端出でたる 朝日に照り映え
はためく我等が 正義のみ旗よ
讃めよいざや 朝日に闇の
消えさる如く 仇は靡く
仰げよ友よ 歌へ高く
正義のみ旗 歌へ高く
強く正しく さやかに立てり
勇み進まん

二 さやけき朝の 涼風渡れば
はためく我等が 正義のみ旗よ
進めいざや むら雲風に
散り行く如く 仇は靡く
我等が行手 光満ちて
正義のみ旗 さやかに立てり
強く正しく 勇み進まん

正義の旗風

古 關 吉 雄

雲雀

Allegro vivace.

Mendelssohn
編者編曲

mf
ヒ ト シラヌ ク モーノヘノ ア マツカミ ニハ

mp *mf*
ベール ミツカヒノウ タヒメカカ ゲハソラ ニカ

mf *mf*
ク レ コ エゾツチニオツル ヒトシラ

mf
ヒトシラヌク

mp
ヌ クモーノヘニ ハ ベール ミツカヒノウ

mp
モーノヘノ アマツカミニハ ベール ミツカヒノウ

タヒメカ カゲハソラニカケレ コエゾツ

mf
タヒメカカゲハソラニカク レコエゾツチニオ

mf
チニオツルヒトシラヌ クモーノヘノ アマツカミニハ

mf
ツル ヒトシラヌクモーノヘニハ

mp *mf*
ベール ミツカヒノウ タヒメカカゲハソラニカ

mp
ベール ミツカヒノウ タヒメカカゲハソ

mf *f*
ク レ コ エゾツチニオツル ココロタカキ

ラーニカケレ コエゾツチニオツルココロタカキ

ーヒバリアハレ ーアハーレヤ

ーヒバリアハレ アハーレヤ

花

瀧 廉 太 郎

Allegro moderato.

ハ ル ノ ウ ラー ラー ノ スー ミー ダ ガ ハ ー

ノ ボ リ ク ダー リー ノ フ ナ ビー トー ガ ー

カ イ ノ シ ヅ ク モ ハ ナ ト チ ル ー

ナ ガ メ ヲ ナー ニー ニ ター ト フ ベー キ

ミ ズ ヤ ア ケー ボー ノ ツー ユー ア ビ テ ー

ワ レ ニ モ ノー イ フー サ ク ラ ギ ヲ ー

ミ ズ ヤ ユ フ グ レ テ ヲ ノ ベ テ ー

ワ レ サ シ マー ネー ク ア ヲ ヤ ギ ヲ ー

ニ シ キ オ リー ナー ス チ ャ ウー テ イ ニ ー

ク ル レ バ ノー ボー ル オ ボ ロー ツー キ ー

ゲ ニ イ ツ コ ク モ セ ン キ ン ノ ー

ナ ガ メ ヲ ナー ニー ニ ター ト フ ベー キ ー

山 彦

フィンランド民謡曲
編者 編曲

Allegretto.

一、オ ヒ シ ゲ ル モ リ ノ カ ゲ ニ
二、た の し げ に こ ず る た か く

カ ク レ タ テ ル ヒ ト ツ ヤ コ モ レ
こ と り う た ひ か は し て ま き の

ビ ノ ヒ カ リ ウ ケ テ ソ マ ハ テ ヲ ノ ラ
こ の ふ え の し ら べ か ぜ に さ そ は れ

フ レ バ ホ イ ラ リ ラ リ ラ ホ イ ラ リ ラ リ
く れ ば ホ イ ラ リ ラ リ ラ ホ イ ラ リ ラ リ

ラ ホ イ ラ リ ラ リ ラ ホ イ ラ リ ラ リ ラ
ラ ホ イ ラ リ ラ リ ラ ホ イ ラ リ ラ リ ラ

モ リ ニ ト ヨ ム ヤ マ ビ コ
も り に と よ む や ま び こ

雲 雀

犬童 球 溪

花

武 島 羽 衣

人知らぬ雲の上の

天つ神に待るみ使の歌姫か

影は空に隠れ

聲ぞ地に落つる

「人知らぬ

雲の上に侍る
の天つ神に侍る

み使の歌姫か

影は空に隠れ

聲ぞ地に落つる」
(繰返)

こころ高き雲雀あはれ

あはれや

春のうららの隅田川

のぼりくだりの船人が

權のしづくも花と散る

ながめを何にたとふべき

見ずやあけぼの露浴びて

われにも言ふ櫻木を

見ずや夕ぐれ手をのべて

われさし招く青柳を

錦おりなす長堤に

暮るれば上るおぼろ月

げに一刻も千金の

ながめを何にたとふべき

岸の櫻

(小學唱歌集)

♩ = 108.

一. キ シノサクラノ ハ ナサク サ カリハ
 二. あ きのもなかーの さ やけき つ きよは

ミ ツノソコニー モ シ ラクモ カ カレリ
 み づのそこにー も し らたま し づめり

ス ミダノ カ ハーノ カ ハノセ ク ダーシ
 す みだの か はーの か は のせ の ぼーし

コ ゲーヤ ヲ ブーネ ハ ナニウカレー テ
 こ ぐーや を ぶーね つ きにうかれー て

ク モニサヲサー シ カ スミニ ナ ガシテ
 さ をのしづくーの ひ かりも さ ながら

コ グヤクモキー ニ カ スミノ ウ ミーニ
 ま たましらたーま し らたま ま たーま

山彦

近藤清

一生ひしげる森の蔭に

かくれ立てる一つ家

木洩れ日のひかりうけて

柚は手斧を振れば

ホイラリラリラ (四回奏唱)

森にとよむ山彦

二 楽しげに梢たかく

小鳥うたひかはして

牧の子の笛の調

風に誘はれ来れば

ホイラリラリラ (四回奏唱)

森にとよむ山彦

岸の櫻

(小學唱歌集)

一 岸の櫻の花咲くさかりは

水の底にも白雲かかれり

隅田の川の川の瀬くだし

漕ぐや小舟花にうかれて

雲に棹さし霞にながして

漕ぐや雲居に霞の海に

二 秋の最中のさやけき月夜は

水の底にも白玉しづめり

隅田の川の川の瀬のぼし

漕ぐや小舟月にうかれて

棹の雫の光もさながら

眞玉 白玉 眞玉

春の姿秋の調

作曲者 不詳
編著者 編曲

Allegretto.



一. カハゾヒマチ ジャノーメノーカ ラカサ
二. みわたすはし ぎばうしゆもーか すみ て
三. ツキシムニハラ ムシーノネーシ キル ヨ
四. ふけゆくそら もののねーさ ゆる よ



ア一メニ ケーブル ヤ ナギナ一ミキ
ス一にぞ にーたる は らるのあーし
チ一リリ リーリリ リリ リリチー
ラ一ラ ラーラ ラーラ ラーラ

春の姿秋の調

八波 則吉

一 川添町 蛇の目のからかさ

雨に煙る柳並木

二 見渡す橋 擬寶珠も霞みて

繪にぞ似たる春の朝

三 月澄む庭 蟲の音しきるよ

チリリリリリリリリリリチリリ

四 更けゆく空 物の音さゆるよ

ラララリラララリララララララ

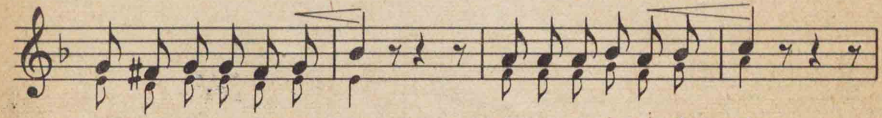
子守歌

Mozart.
編著者 編曲

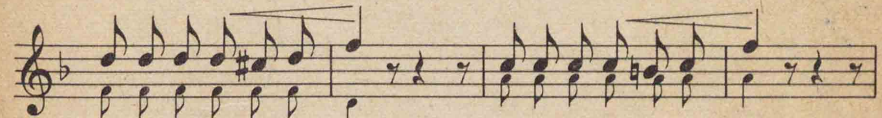
Andante.



一. ネムレイトシ ゴ トリモヒツジ モ
二. いへのものみ な ねむりにおち て
三. ネムレイトシ ゴ トコノマハリ ニ



ニハニマキバニ イマハネムリ テ
たなのねずみの おともきこえ ず
オモチャナラベ テ アマキクシナ ド



ツキハシロジ ロ ナレノネガホヲ
へやのそとま で ねいきかすか に
ココダトリソ へ ナレノメザメ ラ



キヨクテラセリ リ
もるるばか せりに
トモニマチケ リ



ゴゴゴ
ネねネ ムムム
レレレ
ヤヤヤ

静けき森

Weber 作
歌劇「魔弾の射手」中の旋律によって
編著者 編曲

Adagio.

モ リ ノー
も り のー

ニ ミ ドー リー シ ゲール モ リ ノー
ニ み どー りー し げー る も り のー

オ ク カ カ ゲー クー ラ クー トー
し じ ま か ぜー さー び てー えー

マ キ ノ ワー
ふ え は ひー

リー モ ナー カ
だー も ゆー れ

ラ ベー ユ ク カー イ ツ チ
び ー く ふ か きー こ だ ち

ハ ガー クー レ ニー アー エ ズ ヒ ビ ク
や まー びー こ のー はー る か と ほ し

子守歌

田崎 維男

一 眠れいとし子 鶏も羊も
庭に牧場に 今ほ眠りて
月はしろじろ 汝の寝顔を
清く照らせり

二 家のものみな 眠りにおちて
たなの鼠の 音も聞えず
部屋の外まで 寝息かすかに
もるるばかりに

三 眠れいとし子 眠れや
玩具ならべて 床のまはりに
ここだとり添へ 汝の目覚を
ともに待ちけり

眠れいとし子 眠れや

静けき森

上田 壽四郎

一 緑しげる 森のおくか
かげ暗く 鳥も啼かず
牧のわらべ ゆくかいづち
葉隠れに 笛ぞひびく

二 緑しげる 森のしじま
風寂びて 枝も揺れず
笛はひびく 深き樹立
やまびこの 遙か遠し

海の歌

Allegretto.

Verdi 作
歌劇「リゴレット」中の歌曲によって
編著者 編曲

一 ミソラ スミテ ヒカリ ウララ ヒロキ
二 かげの つばさ うたを のせて そらに

ウミハ ワレヲ ヨーブ ミナワ シロク
ひびき さやに とぶ うれひ きえて

フネヲ メグリ アソブ カモメ ヲドル ウーヲ
こころ ほがら ふねも かるく なみを きーる

一ニ ウー タヘ イザ コーゲヨ イザ アーヲ キ ナミ
ウーレシヤ ウーレシヤ

ア - - - ワーガートーモ

海の歌

古 關 吉 雄

一 空澄みて 光うらら

廣き海は 我を呼ぶ

水泡白く 舟を廻り

遊ぶ鷗 躍る魚

(返折)

歌へいざ 漕げよいざ
碧き波 うれしや
うれしや あわが友

二 風の翼 歌をのせて

空にひびき さやに飛ぶ

憂消えて 心朗ら

舟も軽く 波を切る

青空

古 關 吉 雄

一 わが行く山道 風清く吹き通ひ

歌聲ほがらに 鳥うたふ空青し

行けやいざ わが友

雲の影 慕ひて

わが行く山道 風清く吹き通ひ

歌聲ほがらに 鳥うたふ空青し

二 緑の草原 花紅く咲き匂ひ

沿ひ行く小川に 走る魚影さやか

歌へいざ わが友

溢れ湧く 思を

緑の草原 花紅く咲き匂ひ

沿ひ行く小川に 走る魚影さやか

青 空

Wagner 作
歌劇「ローエングリン」中の合唱曲によって
編著者 編曲

Tempo di marcia.

一ワ ガ ユ ク ヤ マ ミ チ カ ゼ キ
ニ み ど り の く さ は ら は な あ

ヨ ク フ キ カ ヨ ヒ ウ タ ゴ エ
か く さ き に ほ ひ そ ひ ゆ く

ホ ガ ラ ニ ト リ ウ タ フ ソ ラ ア ラ シ
を が は に は し る う を か げ さ や か

ユ ケ ヤ イ ザ ワ ガ ト モ
う た へ い ざ わ が と も

ク モ ノ カ ゲ シ タ ヒ テ
あ ふ れ わ く お も ひ を

Fine. *D.S.*

寄 宿 舎 の 古 釣 瓶

(中 學 唱 歌)

一 繩こそ朽ちたれこの古釣瓶
桶こそいたためれこの古釣瓶
學期試験の準備につとめし
幾千の學生が

苦しむあたま

冷して癒さん氷となりぬ
彼等が業を助けん爲に
雨の日雪の日釣瓶の繩の
休まる時なく汲まれし釣瓶
屋根もる月こそ昔を知らぬ

二 たがこそはねたれこの古釣瓶
苔こそむしたれこの古釣瓶
運動會の競技にきほひし
幾そのチャンピオンが

背中の汗を

洗ひて落さん浴湯となりぬ
彼等が元氣を回さん爲に
夏の日冬の日轆轤の音の
絶えにしひまなく汲まれし釣瓶
軒ふく風こそ昔を知らぬ

寄宿舎の古釣瓶

Moderato.

(中學唱歌)
編者 編曲



一ナハコソクーチータレコノ
二たがこそはねたれこの



フルツールーベ ヲケコソ
ふるつーるーベ こけこそ



イーターメレコノフルツールーベ
むーしーたれこのふるつーるーベ



ガクキーシケンノジュンビニツトメシ
うんどうくわいのきやうぎにきほひし



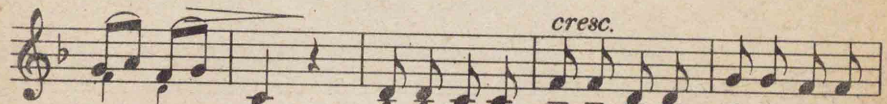
イクチノガクセイガクルシムアタマ
いくそのチャンピオンがせなかのあせを



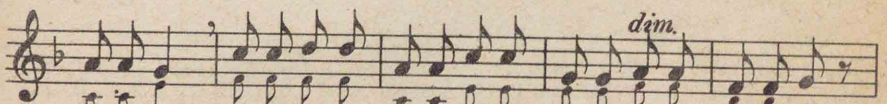
ヒヤシテイヤサンコホリトナリヌ
あらひておとさんあみゆとなりぬ



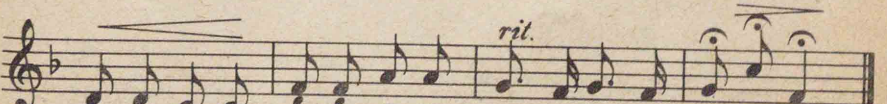
カレラガワーザーヲータスケン
かれらがげんきをかへさん



ターメニ アメノヒユキノヒツルベノ
たーめーになつのひふゆのひろくの



ナハノヤスマルトキナククマレシツルベ
おとのたえにしひまなくくまれしつるべ



ヤネモルツキコソムカシヲシラメ
のきふくかせこそむかしをしらめ

茉莉花

支那民謡曲

Andante.

ニ ス ガ タ ハ ア テ ニ マ ツ
ニ し づ か に に ほ ふ ま し

リ ク サ ク ヨ マ ド チ カ ク
ろ の は な よ マ ヘ ヤ ぬ ち に

カ フ ル シ ロ タ ヘ ノ ハ ナ ヨ
こ む る さ や か なる そ の か

カ ゼ モ ス ズ シ ナ ツ ノ マ
う た も う か ぶ な つ の ま

ヒ ル ナ ツ ノ マ ヒ ル
ひ る な つ の ま ひ る

茉莉花

上田壽四郎

一すがたは貴に
茉莉花さくよ
窓近くかをる
白妙の花よ
風もすずし
夏の眞晝
二しづかに匂ふ
眞白の花よ
室内にこむる
さやかなるその香
詩もうかぶ
夏の眞晝

登山

犬重球溪

一 友どち打ちつれ 装かろく
険しき山路を よづる樂しさ
かなたにそばだつ 峯を仰ぎ
奈落の底なる 谷をのぞみて
おういおうい 呼べば
おういおうい 答ふ
思へばうれしき
この日の遊や ああ
遙かに聞ゆる 谷間の水音
木の葉を交ふる 梢の山風
あれあれ 神のみ技か
さらさらさらさら 樂の音妙に
さらさらさらさら 響きかよふ

二 峠に腰据ゑ 四方を見れば
重なるみ山の 波ぞ寄せくる
白雲迷へる 谷の遠に
響くは木樵の 斧の響か
おういおうい 呼べば
おういおうい 答ふ
思へば樂しき
この日の遊や ああ
向ひに懸れる 瀑布のとどろき
梢に群がる 小鳥の囀
あれあれ 神のみ技か
さらさらさらさら 樂の音妙に
さらさらさらさら 響きかよふ

登山

Vivace.

Gurlitt.
編者 編曲



一ト モドチウチツレヨ ソーヒカーロク
ニたうげにこしすゑよもーをみれば



ケハシキヤマチヲヨツルタノシサ
かさなるみやまのなみぞよせくる



カナタニソバダツミネーヲアーフギ
しらくもまよへるたにーのをーちに



ナラクノソコナルタニヲノゾミテ
ひびくはきこりのをのひびきか



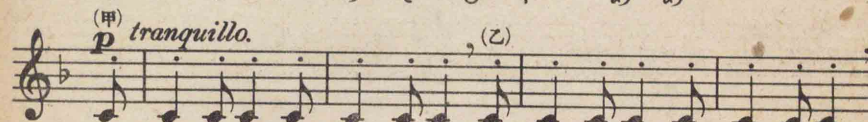
オウイ オウイ ヨベバ オウイ オウイ
おうい おうい よべば おうい おうい



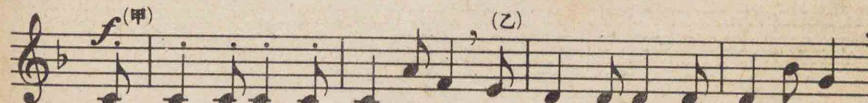
コタフ オモへバウレシキ
こたふ おもへばたのしき



コノヒノアソビヤアア
このひのあそびやああ



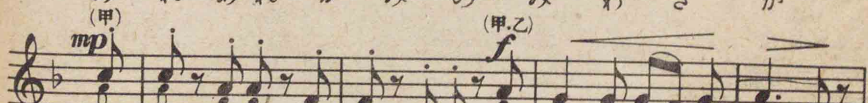
ハルカニキコユルタニマノミツオト
むかひにかかれるばくふのとどろき



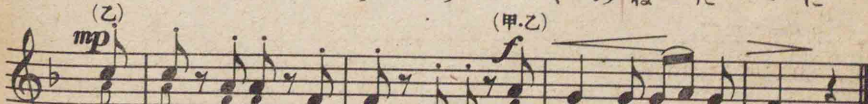
コノハラマジフルコズエノヤマカゼ
こずゑにむらがることりのさへづり



アレアレカミノーミワザカ
あれあれかみのーみわさか



サラサラサラサラガクノネータヘニ
さらさらさらさらがくのねーたへに



サラサラサラサラヒビキカーヨフ
さらさらさらさらひびきかーよふ

森の鍛冶屋

Verdi 作
歌劇「トロヴァトーレ」中の
合唱曲によって

Allegro.

pp *cresc.*

一 ハ カ ゲ ヲ モ リ ク ル ヒ カ リ ヲ ア ビ
二 み や ま に た に ま に こ だ ま を な し

pp *cresc.*

テ ツ チ オ ト ナ ラ セ ル モ リ ノ カ チ
て つ ち お と な ら せ る も り の か ち

ヤ ^{外説や村} ト リ ノ チ ヨ チ ヨ ナ ク ネ ニ
や み づ の さ ら さ ら こ る す

ア ハ セ オ ロ ス コ ツ チ ノ シ ラ ベ モ
ま ま に お ろ す こ づ ち の し ら ベ も

サ ヤ カ トン カン トン カン トン カン トン ウチ ナ
さ や か トン カン トン カン トン カン トン う ち な

cresc. *ff*

ラ ス オ モ シ ロ サ オ モ シ ロ サ ヨ
ら す お も し ろ さ お も し ろ さ よ

森の鍛冶屋

一 葉蔭を漏り来る

光を浴びて

槌音ならせる

森のかぢや

鳥のちよちよ

鳴く音にあはせ

おろす小槌の

調もさやか

トンカン トンカン

トンカントン

うちならず おもしろさ

おもしろさよ

二 深山に谷間に

銜をなして

槌音ならせる

森のかぢや

水のさらさら

聲するままに

おろす小槌の

調もさやか

トンカン トンカン

トンカントン

うちならず おもしろさ

おもしろさよ

森 迫 武

夏の黄昏

Moderato.

若狭萬次郎

一 ア ラバ ワ カバノ カゼーソヨーグ
 二 か そけ き みそらの ほしーか げーに
 ラ ガハノ ツーツーミ ニ サ マヨーヘーバ
 ほ たるの かーがーり び う つろーひ て
 ユ カシ キ カヲリ ホロ ホーロート
 か きねを めぐる うの はーなーの
 ユ フヤ ミ モレテ ナガ ーレク ル
 に ほふ も ゆかし なつ ーの よ ひ

夏の黄昏

一 青葉若葉の風そよぐ
 小川の堤にさまよへば
 ゆかしき薫ほろほろと
 夕闇もれてながれ来る

二 かそけきみ空の星かげに
 螢の篝火うつろひて
 垣根を繞る卯の花の
 匂ふもゆかし夏のよひ

山崎紫泉

夜曲

Moderato.

[ボレロ]

Gurlitt.

編著者 編曲

一 ツーキーノ ノーミ---チ ホー
 二 かーぜーは きーよ---く こー
 ノーア カル ク
 ずーゑめ ぐりて
 ソーゾーロ アーユ---ム
 しーらーべ たーへ---に
 アーシーモ カロ ヤカ コーロ
 そーよーぐ たの しさ こーろ
 イーツカ ハ ツー---ミヲ ドールーヨ ア ア
 いーつか は づー---みを どーるーよ あ あ

一月の野道 ほんのと明るく
 そぞろ歩む 足も軽やか
 心いつかはづみ踊るよ
 あ

二風は清く 梢廻りて
 調妙に そよぐ樂しさ
 心いつかはづみ踊るよ
 あ

夜曲

古關 吉雄

えいさ えいさ それ曳け舟を
 えいさ えいさ それ巻け綱手
 舟足おもく 狭霧も深し
 心やる舟唄も わびしく哀し
 えいさ えいさ それ曳け舟を
 えいさ えいさ それ巻け綱手
 ゆくては遙か 狭霧の中に
 いとせめて通へかし われらが唄の
 えいさ えいさ それ曳け舟を
 えいさ えいさ

ヴォルガの舟唄

上田 壽四郎

ヴォルガの舟唄

ヴォルガ地方民謡曲

Moderato.



エーイサ エーイサ ソレヒーケ フーネヲ



エーイサ エーイサ ソレマーケ ツーナデ
 エーイサ エーイサ ソレマーケ ツーナデ



フナアーシー オモク サギリーモー フカシ
 ユクテハー ハルカ サギリーノー ナカニ



コロヤル フナウタモ ワビシーク
 イトセメテ カヨヘカシ ワレラーガ



カーナシ エーイサ エーイサ
 ウータノ エーイサ エーイサ



ソレヒーケ フーネヲ
 ソレヒーケ フーネヲ エーイサ エーイサ

本曲は尙四分音符二個を隔ててカノンとしても使用することが出来る。

農夫の楽しみ

Schumann 作
ピアノ少年曲集中の
同名の楽曲によって

Moderato.



一 ア ケ ユ ク ア サ ヲ タ タ ヘ ム ラ ド リ ト ビ タ チ ウ
二 た そ が れ し の び よ り て た の も に ゆ ふ も や こ



タ ヘ バ カ ソ ケ ク ホ ナ ミ ソ ヨ キ フ
む れ ば ひ た ひ の あ せ を ぬ ぐ ふ す



キ ク ル ス ズ カ ゼ ウ レ シ ヤ サ ヤ ケ キ ア
ず し き ゆ ふ か ぜ う れ し や み そ ら を あ



サ ヒ ウ ケ テ ユ タ カ ニ ミ ノ ル イ ナ ホ ナ
ふ ぎ み れ ば ひ と ひ の つ と め め で て ほ



ガ ム ル ヨ ロ コ ビ ハ テ ナ シ ト ガ マ ヲ フ ル ヒ カ レ バ ヒ
し か げ や さ し く ま た た く う た ご ゑ か ぜ に の せ て い



カ リ ハ キ ラ ト エ マ ヒ ノ ゴ ミ ハ コ コ ロ ニ ア フ レ ク
へ ち を か へ る こ ころ や す け く み ち た り た の し や

(口繪富真参照)

農夫の楽しみ

一 明け行く朝を稱へ

群鳥飛び立ち歌へば

かそけく穂並そよぎ

吹き来る涼風嬉しや

さやけき朝陽うけて

豊かに實る稲穂

眺むる喜涯なし

利鎌を揮ひ刈れば

光はきらと笑まひ

望は心に溢れ來

二 黄昏忍び寄りて

田の面に夕靄こむれば

額の汗を拭ふ

涼しき夕風嬉しや

み空を仰ぎみれば

一日のつとめ愛でて

星影やさしく瞬く

歌聲風にのせて

家路を歸る心

安けく満ち足り樂しや

古 關 吉 雄

古 戦 場

(小學唱歌集)

♩ = 80.

一カバネハクチテホネートナリ
二ひとねかげみえずかぜさむし
三イもバハヲレテシモムス
イマハタナビクハタスス
ツツミナハオトカマツカゼカ
ツツミナハオトカマツカゼカ

古 戦 場
(小學唱歌集)

一 屍は朽ちて骨となり
又は折れて霜むすぶ
今はた靡く旗薄
鼓の音か松風か

二 人影みえず風さむし
蓬は枯れて霜しろし
命を捨てし益荒男が
その名は千代も
くちせじな

秋 草

(小學唱歌集)

♩ = 80.

一サキノコリタルアサガホヤ
二あや錦おるはぎが花
三誰まねくらんはな薄
風も吹かぬに
露ぞみだるるはな薄

秋 草
(小學唱歌集)

一 咲きのこりたる朝顔や
命とたのむ
露も干る間の朝顔や

二 あや錦おるはぎが花
たまもいろなる
露ぞこぼるる萩が花

三 誰まねくらんはな薄
風も吹かぬに
露ぞみだるるはな薄

月光

Andantino. Lindbald.

一 ユ フヅ キノ カ ガヤキ テ
二 つ きか げは さ えさえ て

サ ハ ヤ ケ キ ヨ ト ナ リ ヌ シ
み な ぞ こ を ゆ く ごと し

カ ソ ケ キ カゼニ サ サ ヤ ク コ ノ ハ
は な さ く ひろの は て な く つづき

キ ラ メ キ セ セ ラー グー シ マ ノ ミ ツ
が く の ね か そ かー にー か よ ひ き て

ワ ガ フ ク フ エ ニ シ ラ ベ ヲ ア ハ セ
わ れ ら の あ ゆ み そ ぞ ろ に す す み

ミ ソ ラ ニ ス ミ イー ルー コ コ チ ス レ
と ど ま る こ と なー きー お も ひ す れ

月光

一 夕月の かがやきて

水町京子

さはやけき 夜となりぬ

かそけき風に ささやく木の葉

きらめきせせらぐ 林泉の水

わが吹く笛に しらべをあはせ

みそらにすみいる こちすれ

二 月光は さえさえて

水ぞこを ゆくごとし

花咲くひろ野 はてなくつづき

樂の音かそかに かよひ来て

われらの歩み そぞろにすすみ

とどまることなき おもひすれ

里の眺

一 水の流風の動

官田勝三郎

さらさらから秋來ぬ

木の實赤く空は晴れ

里の朝

明けてゆく

二 渡鳥の影は遠く

雲のうちに消えうせ

鐘の聲に木の葉散り

里の夕

暮れてゆく

里の眺

Allegretto.

ドイツ民謡曲

一 ミツノ ナガレ カゼノ ウーゴキ
二 わたり どりーの かげは とほく

サ ラ ラ サ ラ ラ ア キ キ ヌ セ
く も の う ちに き え う せ

コ ノ ミ ア カ ク ソ ラ ハ ハ レ リ
か ね の こ ゑ に こ の は ち り

サ ト ノ ア シ タ ア ケ テ ユ ク
さ と の ゆ ふ べ く れ て ゆ く

子守歌

Andante.

Brahms.
編著者編曲

一 ネムレヨア コ ナーレ ヲメグ リ
二 ねむれよあ こ なーれをめぐり

バ ラ ノ ハ ナ ホーホーエ メ リ
あ ま つ つ か ひ まーもーら へ ば

ネムレ ネムレ イマハヤ ス ク
ねむれ ねむれ いま は や す く

ア サ ノ ヒ カ リ サ シ ク ル マ デ
ゆ め の の く に に あ こ が れ ま つ つ

子守歌

田崎維男

一 ねむれよ吾子汝をめぐり
薔薇のはな ほほゑめり
ねむれ ねむれ
今はやすく
朝のひかり
さしくるまで

二 ねむれよ吾子汝をめぐり
天つ使 守らへば
ねむれ ねむれ
今はやすく
あこがれつつ
ゆめの國に

角 笛

Andante.

スウェーデン民謡曲

二 ヒ ハ テ リ カ ガ ヤ ク タ カ ネ
 二 ふ く か ぜ さ や け き た か ね
 ノ ク サ ハ ラ ー フ ク カ ぜ ホ ホ
 に い こ へ ば ー と ぶ く も か げ
 ニ カ ロ ク ワ ガ ム ネ モ サ ヤ ケ
 一 か ろ く あ こ が ね は は る け
 シ 二 ア ー フ ル ル オ モ ヒ コ メ テ
 一 あ ー ふ る る お も ひ こ め て
 ソ ラ ニ フ ク ツ ノ ブ エ
 一 そ ら に ふ く の ぶ え

角 笛
 古 關 吉 雄

一 日 は 照 り 輝 く
 高 峯 の 草 原
 吹 く 風 頬 に 軽 く
 我 が 胸 も さ や け し
 溢 る る 思 こ め て
 空 に 吹 く 角 笛

二 吹 く 風 さ や け き
 高 峯 に 憩 へ ば
 飛 ぶ 雲 影 も 軽 く
 憧 憬 は 遙 け し
 溢 る る 思 こ め て
 空 に 吹 く 角 笛

我 が 友

Andante.

Wrighton.

編 者 者 編 曲

一 シ ラ モ モ ヒ モ モ カ チ イ ロ キ ソ ヒ
 二 ま き ば の さ つ き あ を く さ し き つ
 サ サ ブ ネ ウ ケ シ ヲ ガ ハ ハ イ カ ニ
 ひ ば り の こ ゑ に お も ひ を よ せ き
 カ ゼ タ チ イ ヨ ヨ タ カ マ ル ナ ミ ヲ
 は や し の こ み ち お ち ば を あ び つ
 ア ラ ソ ヒ ト ビ シ ナ キ サ ハ イ カ ニ
 た か な る む ね の の ぞ み も の べ き
 オ モ ヘ バ コ ヒ シ ヲ サ ナ キ ソ ノ ヒ
 や ま か は い く へ へ だ て て す め ど
 ナ ツ カ ー シ ト モ ヨ ア ケ ク レ イ カ ニ
 こ こ ろ 一 は か よ ふ う つ つ に ゆ め に

花は笑まふ

Weber 作
歌劇「魔弾の射手」中の
合唱曲によって

Allegretto.



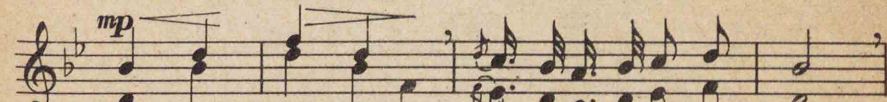
ニミ ドーリーニ ヒ ローゴール ノ
ニみ そらーに そ びーゆーる み



ベ ニサークー ハーナ ヤ サーシーク エ
ね にさーくー はーな き よーらーに る



マーヘール スガ タナーツー カーシ
まーへーる すが たうーるー はーし



コ テ フ ハー タ ハム レア ソ ビ
あ さ つ ゆー はら はらこぼ れ



ヒーラ ヒーラ ヒーラ マ ヒーテメー グール
きーら きーら きーら さ やーにーひーかーる

我が友

水町京子

一 白桃緋桃 勝色きそひ

笹舟浮けし 小川はいかに

風立ちいよよ 高まる波を

争ひ飛びし 渚はいかに

思へば戀し をさなきその日

なつかし友よ あけくれいかに

二 牧場の五月 青草藉きつ

雲雀のこゑに 思をよせき

林の小みち 落葉をあびつ

高鳴る胸の 望ものべき

山河幾重 隔ててすめど

ところは通ふ 現に夢に

花は笑まふ

古關吉雄

一 緑に擴がる野邊に咲く花

やさしく笑まへる

姿なつかし

胡蝶は戯れ遊び

ひらひらひら

舞ひてめぐる

二 みに空に聳ゆる峯に咲く花

きよらに笑まへる

姿うるはし

朝露はらはら零れ

きらきらきら

さやかに光る

暮るる岸邊

Andante.

ドイツ民謡曲

一. サザナミハ ツキカーゲヲ
二. かはぎし の くさむらに

一. サザナミハ ツキカゲ
二. かはぎし の くさむら

キラトクーダク カハモニ
なくむしーのね しづーけく

ヲ キラトクーダク カハモニ
に なくむしーのね しづーけく

ツナガレシ フネヒートツ
よかーぜに な がれーくる

ヒソヤカニ ヨハフーケヌ
ふえのーねも いとすーずし

暮るる岸邊

古 關 吉 雄

一 小波は 月影を

きらと碎く 川面に

つながれし 舟一つ

ひそやかに 夜は更けぬ

二 川岸の 草叢に

啼く虫の音 静けく

そよ風に 流れくる

笛の音も いと涼し

友を送る

古 關 吉 雄

一 雲は低く 峯に垂れ

風は寒く

木の葉を散らす

別れ路 わびし

さらば友よ幸くませ

友よさらば

二 空碧く 雲雀啼き

またも君を

迎へんその日

望みて 待たん

さらば友よ幸くませ

友よさらば

友を送る

Larghetto.

Beethoven.
編者編曲



一クモハヒクークー ミーネニ タレ
ニみそらあをーくー ひーばり なき



カゼハサムク コノハヲチラスー
またもきみーを むかへんそのひー



ワカーレヂワビシ--- サラバトモヨー
のぞみ てまたん--- さらばともよー



サーキクマセ トモヨサラバ
さーきくませ ともよさらば

秋の古城

Andante.

若狭萬次郎



一マツノコズエヲ トフカゼニ
ニつゆときえにし ますらをの



ムカシヲシーノブ クワウージャウノ
みたまにささげし ももーちぐさ



クサムラガクレ ムシスーダク
やさしきはなの かげしーめて



チンチロリーリリ チンチローリ
チンチロリーリリ チンチローリ

秋の古城

山崎紫泉

一松の梢を訪ふ風に

昔を偲ぶ荒城の

草むらがくれ蟲すだく

チンチロリリリ

チンチロリ

二露と消えにし益荒男の

み靈に捧げし百千草

優しき花の蔭しめて

チンチロリリリ

チンチロリ

川邊の草花

北 歐 民 謡 曲
編 著 者 編 曲

Andante.

一ヲガハキヨクスミテソコノ
二をがはきよくすみてそこの

マサゴカズモシルクモモクサフカクシ
まさごかずもしるくももくさふかくし

ゲルキシニサキタルハナノスガタアハ
げるきしにさきたるはなのすがたあは

レシミツタマトクダケセゼノ
れはなはみづにちりてかろく

ナガレタヘニヒビキミナーワゾシロクラ
ゆるくながれゆきてゆくへもしらにき

ドルナカニハシレルウヲノスガタアハレ
ゆるあとをおひゆくうのをすがたあはれ

ハナチルミツニヒナヲヨビーテ
すみたるみづにともとむれて

ミツドーリシバーナク
こうをーはあ そーべり

川邊の草花

近 藤 清

一 小川清く澄みて 底の眞砂數もしるく
百草深く茂る岸に 咲きたる花の姿あはれ
清水玉と碎け 瀨瀨の流妙にひびき
水泡ぞ白く踊る中に
走れる魚の姿あはれ
花散る水に雛をよびて 水鳥しば啼く

二 小川清く澄みて 底の眞砂數もしるく
百草深く茂る岸に 咲きたる花の姿あはれ
花は水に散りて 軽くゆるく流れ行きて
行衛も知らに消ゆるあとを
追ひ行く魚の姿あはれ
小魚は遊べり

秋の山里

Moderato.

Cherubini.

mf

一. オトナクハルルサギリノトバリア
二. くもゐのかりのすがたはきえてあ

チグサヤチグサ
ほしのまたたさき

キタツチグサヤチ
きくろほしのまーたー

チグサヤチグサ
ほしのまたたさき

ノベニカハベニイロヅキミ
むしのかたらひおもひはつ

グサノベニカハベニイロヅキミ
たきむしのかたらひおもひはつ

ノベニカハベニイロヅキミ
むしのかたらひおもひはつ

ダ ル ル ヤ マ ザ ト ヒ ト リ サ ビ
き せ ぬ や ま ざ と ひ と り さ び

ダ ル ル ヤ マ ザ ト
き せ ぬ や ま ざ と

ダ ル ル ヤ マ ザ ト ヒ ト リ サ ビ
き せ ぬ や ま ざ と ひ と り さ び

シ ク ノ チ ヲ イ ソ ゲ バ シ
し く き ぬ た う つ て に よ

ヒ ト リ サ ビ シ ク ノ チ ヲ イ ソ ゲ バ
ひ と り さ び し く き ぬ た う つ て に

シ ク ノ チ ヲ イ ソ ゲ バ シ
し く き ぬ た う つ て に よ

ラ ツ ユ ハ ラ ハ ラ オ ツ ル ヨ
か ぜ は つ め た く お と な ふ

シ ラ ツ ユ ハ ラ ハ ラ オ ツ ル ヨ
よ か ぜ は つ め た く お と な ふ

ラ ツ ユ ハ ラ ハ ラ オ ツ ル ヨ
か ぜ は つ め た く お と な ふ

菩提樹

Schubert 作
歌謡曲集「冬の旅」中より
編著者 編曲

Moderato.

Three systems of musical notation with lyrics in Japanese. The score includes dynamic markings such as *mf*, *p*, and *dim.* and includes a triplet of notes in the final system.

一、イ ツ ミ ニ ソ ヒ テ シ ゲ ル ボ ダ イ ジュ
 二、け ふ も よ ぎ り ん く ら き さ よ な か
 三、オ モ ヲ カ ス メ テ フ ク カ ゼ サ ム ク

シ タ ヒ ユ キ テ ハ ウ マ シ ユ メ ミ ツ
 ま や み に た ち て ま な こ と づ れ ば
 カ サ ハ ト ベ ド モ ス テ テ イ ソ ギ ヌ

ミ キ ニ ハ エ リー ヌ ユ カ シ コ ト バ
 え だ は そ よ ぎー て か た る ご と し
 ハ ル カ サ リー テ タ タ ズ マ ヘ バ

ウ レ シ カ ナ シー ニ ト ヒ シ ソ ノ カ
 コ ホ モ キ ヲ ム ル コ コ ニ サ チ ア

ゲ ト ヒ シ ソ ノ カ ゲ
 リ コ コ ニ サ チー ア リ

(口繪寫眞参照)

秋の山里

近藤 清

一音なく霽るる 狭霧の帷

秋立つ

千草八千草 野邊に川邊に

色づき亂るる山里

獨り淋しく 野路を急げば

白露はらはら

落つるよ

二雲居の雁の 姿は消えて

秋暮る

星の瞬 蟲の語らひ

想は盡きせぬ 山里

獨り淋しく 砧打つ手に

夜風はつめたく

おとなふ

菩提樹

近藤 朝風

一泉にそひて 繁る菩提樹

慕ひ往きては 美し夢みつ

幹には彫りぬ ゆかし言葉

嬉し悲しに 訪ひしそのかけ

訪ひしそのかけ

二今日も過りぬ 暗き小夜なか

眞闇に立ちて 眼とづれば

枝は戦ぎて 語ることし

「來よいとし友 ここに幸あり」

ここに幸あり」

三面をかすめて 吹く風寒く

笠は飛べども 棄てて急ぎぬ

遙か離りて 佇まへば

なほも聴こゆる「ここに幸あり」

ここに幸あり」

除夜の鐘

Andante.

ウェールス歌謡曲

一 タカネヲカスーメテチヨヤノカネゾ
 二 ヲくとしくるとしたもとわかつ

ヒビク タニマヲワターリテチヨヤノカネゾ
 ところ つとめをはたしてすぎしあとを

ヒビク オモーヒ デ オホーカ ルテ
 み やり の ゴーみ を い だーき

トシモイ マヤ ユキヌ
 おのか ゆくて な が む

コトシモイ マハヤ ユキヌ オモヘバ
 おのれがゆくてを な が む おもへば

イソーガ シ ナガレイヌ ル ツキーヒ
 たのーもし ぢよのかねぞ ひびく

除夜の鐘

森迫 武

一 高嶺を掠めて除夜の鐘ぞ響く
 谷間を亘りて除夜の鐘ぞ響く
 思出多かる年も今や逝きぬ
今年も今はや逝きぬ
 思へば忙がし流れ往ぬる月日

二 逝く年来る年袂分つところ
 務を果して過ぎし跡を見やり
 望を懐きておのが行手眺む
おのれが行手を眺む
 思へばたのもし除夜の鐘ぞ響く

恩愛の歌

山田 實

一 ちちのみの父は
 斯くこそ思ほせ
 ま輝く黄金なしとて憂へじ
 「はしきやし子らよ
 いとしき汝らは
 二つなきわれの
 寶ぞ 誇ぞ」

二 ははそばの母は
 斯くこそたまへ
 夜光る玉はなしとて歎かじ
 「はしきやし子らよ
 らうたき汝らは
 類なきわれの
 寶ぞ 誇ぞ」

恩愛の歌

Andante. Mendelssohn.

p

一チチノミノチチハカクコソオ
二ははそばのはははかくこそ

モホセマカガヤクコガネ一ナ
たまへよるひかるたまは一な

p *mf cresc.*

シトテウレヘジハシキヤシ
しとてなげかじはしきやし

コラヨイトシキナレラハ
こらよらうたきなれらは

p

フタツナキワレノタカラゾホコリゾ
たぐひなきわれのたからぞほこりぞ

春よ來れ

Allegretto. Sterkel.

mp

一モエタツカゲロフユララユーラ
二ことのさへづりほがらほが

ラノゾーミーニアフーレーテ
らちかーらーにあふーれーて

mf

トクキターレハールヨ
とくきたーれはーるよ

春よ來れ

豊川昇

一 燃えたつかけろふ
ゆららゆらら
のぞみに溢れて

とくとく

來れ 春よ

二 小鳥のさへづり
ほがらほがら
ちからに溢れて

とくとく

來れ 春よ

幸の調

Allegretto.

ドイツ民謡曲

mp

一、ヲゴト モテコ ヲゴト イヅミ チカキ
 二、ゆふひ はゆる みの も なみを わたる

コカゲ ウタヒ カナデ ン ー ハカゼ
 しらべ なにか たぐへん ー うれひ

ササト ソヨギ シラベ アヒテ ウタフ
 なげき いま は きりと きえて ひびく

サチノ シラベ ヤ ー スズシキ
 さちの しらべ よ ー す が し き

サチノ シラベ ヤ スズシ
 さちの しらべ よ す が し

一 シラー ベ タノシキ ガクノ ネ
 一 しらー ベ あめなる がくの ね

一 キシラー ベ タノシキ シラベ
 一 きしらー ベ あめなる しらべ

幸の調

一 小琴もて來 小琴

水町京子

泉近き木かげ 歌ひ奏でん
 葉風ささとそよぎ
 しらべあひてうたふ

幸の調や

すずしきしらべ

たのしき 樂の音 しらべ

二 夕日映ゆる水面

波をわたる調 何かたぐへん

うれひなげき今は

霧と消えてひびく

幸の調よ

すがしきしらべ

天なる 樂の音 しらべ

春の歌

古 關 吉 雄

一 歌聲高く 雲雀揚がり

小川の水は さらさら流れ 囁きて

花咲きかをる

春は樂しや

二 友と手を取り 花を慕ひ

緑の野ゆき 岡邊さすらひ 岡邊ゆき

あくがれたどる

春は樂しや

春の歌

Allegretto.

Gumbert.

mf

一ウタゴエ タカク ヒバリア ガ リ
ニともとて をとり はなをした ひ

ヒバリア ガーリ
はなをしたーひ

ヲガハノ ミ ツハ サラサラ ナ ガレ
みどりの の ゆき をかべさ すらひ

ヲガハノ ミ ツハササ ヤキータ
みどりの の ゆきをかべゆき

ハナサキ カヲル ハルハタ ノ シヤ
あくがれた どの はるはた の シヤ

ハナサキ カール ハルハタ ノ シヤ
あくがれたーどーる はるはた の シヤ

海の暁

(第一聲獨唱)

みはるかす海境は

茜ほのにさして

明けなんけはひ

お 白む水も空も

(合唱)

げに静けきあかつきや

波は 波は
波はよる ささやきよる

みよや雲 かがやかに
みよや

てりいでて夜はあけぬ

水町 京子

(第二聲獨唱)

岸の松に琴やかけし

おのづから音にいでて

妙なるしらべぞ

浪にただよふ

(合唱) 繰返

(第三聲獨唱)

渚に散らふ貝の眞玉

ほのぼのと照りいでて

眞砂路波の秀

やややかにしろし

(合唱) 繰返

海の暁

Allegretto con moto.

Mazzinghi.

dolce Solo, 1st Voice.
mf

ミハルカースウナサーカーハ
ア--カーネホノニサーシーテ
ア--ケナンケ--ハーヒ
オシラムミツモソーラーモ

Chorus.
mp

ゲニシーツケキアカーツキヤナミハヨー
ナミ

ハルサーサヤキヨルミヨヤクモ
ルサーサヤキヨルミヨヤクモ

dim. *dolce* *dim.* *dolce*

ハヨールサーサヤキヨルミヨヤクモ

p *rit.*
カガヤカニテリイデテヨハ--アケヌ
f *p* *rit.*
キシノマツニコトヤカーケーシオ
ノ--ツ--カラネニイデーテタヘ--ナルシ

Solo, 2nd Voice.
dolce

ラ--ベ--ゾナミニタダ--ヨーフ

Repeat Chorus.
dolce

ナギサニチラフカヒノマターマ
ホノボノトテリイデーテマサゴチ

Repeat Chorus.
ナミノホヤヤヤヤニシ--ローシ

静夜

Andante. シシリヤ民謡曲

シツケシヤーシツケシヤー
ニさやけしやーさやけしやー

ヨハラフカキサトワ
ヨきらめける星やささやく如く

モノノネヲエテアマツチネムルク
モひとみをかはしあかくなるといふ

アフゲバタカシホシゾラ
あめなるかみのひめごと

静夜

田崎維男

一 静けしや 静けしや
夜半ふかき さとわ
物の音絶えて 天地ねむる
仰げば高し 星空

二 さやけしや さやけしや
きらめける 星や
瞳を交はし ささやく如く
天なる神の 秘事

花月

(小學唱歌集)

一 花を見る時は
ころいとたのし
ころたのしきは
花のめぐみなり

二 月を見る時は
ころしづかなり
ころしづけきは
月のめぐみなり

三 よきを見て移り
悪を見てさけよ
朱に交はれば
あかくなるといふ

花 月

(小學唱歌集)

$\text{♩} = 66.$

p *mf*

一 ハ ナ ヲ ミ ル ト キ ハ コ コ ロ
二 つ き を み る と き は こ こ ろ
三 ヨ キ ヲ ミ テ ウ ツ リ ア ク ヲ

f

イ ト タ ノ シ コ コ ロ タ ノ シ キ
し づ か な り こ こ ろ し づ け き
ミ テ サ ケ ヨ ア ケ ニ マ ジ ハ レ

mf

ハ ハ ナ ノ メ ゲ ミ ナ リ
は つ き の め ぐ み な り
バ ア カ ク ナ ル ト イ フ

樂 典

1. 連音符の用例

三連音符の用例

1.

2.

3.

二連音符の用例

五連音符の用例

2. 切分音の例

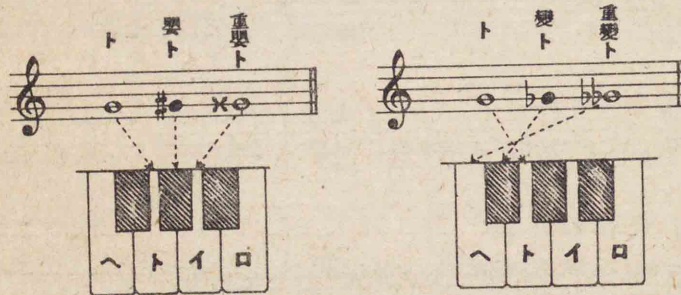
強部と弱部との原位置

切分音

音符の上方の垂點は音勢の所在を示す。

3. 變化記號

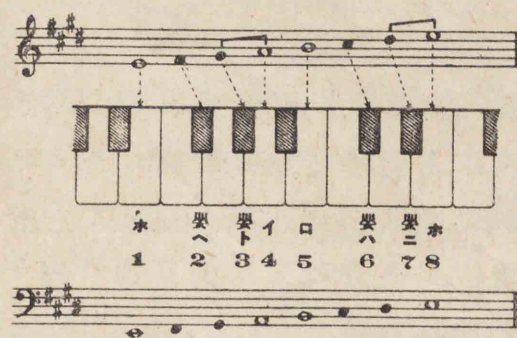
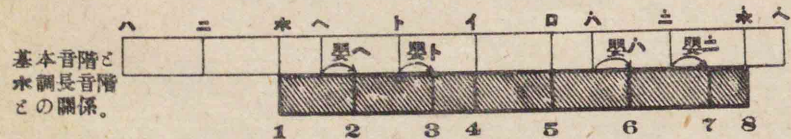
重嬰及び重變 嬰音を更に半音程高くするには、音符の左側に重嬰 (double sharp) \times を、又變音を更に半音程低くするには、音符の左側に重變 (double flat) bb を附記する。次に之を例示する。



尙重嬰音又は重變音を嬰音又は變音に復するには $\#$ (或は \sharp) 又は b (或は \flat) を、基本音に復するには \natural を其の音符の左側に附記する。

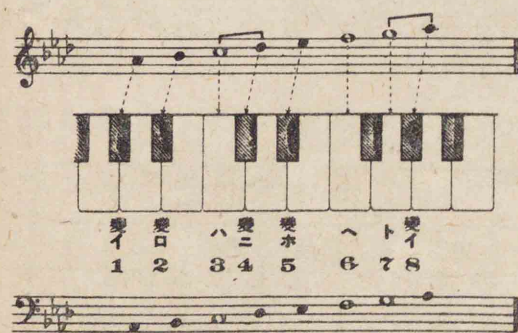
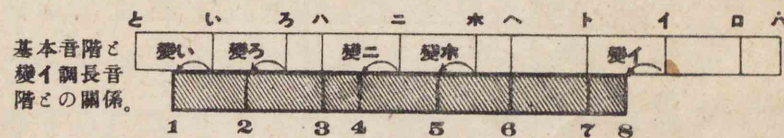
4. 音階 (其の一)

ホ調長音階の構成 ホ音を基礎として構成した長音階は之をホ調長音階と稱し、其の構成に於ては下圖



の如く、其の第一度をホ音とし、更にへ音、ハ音、ト音及びニ音の代りに、夫々嬰へ音、嬰ハ音、嬰ト音及び嬰ニ音が使用される。

變イ調長音階の構成 變イ音を基礎として構成した長音階は之を變イ調長音階と稱し、其の構成に於て



は圖の如く、其の第一度を變イ音とし、更にロ音、ホ音及びニ音の代りに、夫々變ロ音、變ホ音及び變ニ音が使用される。

5. 音 程

半音階的音程 全音階的音程が變化記號によつて半音程増減されたものは之を半音階的音程と稱し、何れも増又は減の名稱が冠され、完全音程又は長音程の増大されたものは**増音程**、完全音程又は短音程の縮小されたものは**減音程**と呼ばれる。

次に各種の音程について之を表示する。

音程の度数	一 度		二 度		
	完全	増	長	短	増
音程の名稱	完全	増	長	短	増
音程の中に含む半音の數	0	1	2	1	3
					

三 度				四 度			五 度		
長	短	減	増	完全	減	増	完全	減	増
4	3	2	5	5	4	6	7	6	8
									

六 度				七 度			八 度	
長	短	減	増	長	短	減	完全	増
9	8	7	10	11	10	9	12	13
								

尙半音程中、二度に亘るものは全音階的半音、同度上のものは半音階的半音と稱される。

音程の轉回 音程を構成する二音の内、其の下方にあるものを其の八度上方に、或は其の上方にあるものを其の八度下方に置き換へることは之を**音程の轉回**と稱する。然して九なる數より減じた音程の度数の名は常に轉回の度数の名を表し、例へば三度は六度となり、四度は五度となる。又音程は轉回によつて其の性質を變更する。即ち長は短となり、短は長となり、増は減となり、減は増となる。但し完全は完全を保持する。

											
完全	五度	完全	四度	長	三度	短	三度	増	四度	減	五度

6. 音階 (其の二)

嬰種長音階の構成 既に説明したト調長音階、ニ調長音階、イ調長音階等の如きは、何れも嬰記號のみを以て其の調子記號としてゐる。斯くの如く其の調子記號中に嬰記號のみを含む長音階は之を嬰種長音階と總稱する。次に嬰種長音階の構成に關する一般の法則を概示する。

(1) ハ調長音階の第一度たるハ音を基點とし、之より逐次上方完全五度の位置に(即ちハ→ト→ニ……の如き順序に)新音階の第一度を求める。

(2) 即ち舊音階の第五度は常に新音階の第一度となる。

(3) 又舊音階の第四度は常に半音程上昇して新音階の第七度となる。

(4) 斯くの如くにして逐次嬰音一個を増加させる。次に以上の法則によつて構成した各調の嬰種長音階を表示する。

ト調長音階

ニ調長音階

イ調長音階

ホ調長音階

ロ調長音階

嬰ヘ調長音階

嬰ハ調長音階

因に嬰種長音階の調子記號中、其の最終の嬰記號の位置は其の音階の第七度の位置に該當するが故に、之によつて容易に其の音階の何調なるかを測知することが出来る。

變種長音階の構成 既に説明したヘ調長音階、變ロ調長音階、變ホ調長音階等の如きは、何れも變記號のみを以て其の調子記號として居る。斯くの如く其の調子記號中に變記號のみを含む長音階は之を變種長音階と總稱する。次に變種長音階の構成に關する一般の法則を概示する。

(1) ハ調長音階の第一度たるハ音を基點とし、之より逐次下方完全五度(上方完全四度)の位置に(即ちハ→ヘ→變ロ……の如き順序に)新音階の第一度を求める。

(2) 即ち舊音階の第四度は常に新音階の第一度となる。

(3) 又舊音階の第七度は常に半音程下降して新音階の第四度となる。

(4) 斯くの如くにして逐次變音一個を増加させる。次に以上の法則によつて構成した各調の變種長音階を表示する。

1. \sim 調長音階

2. 變口調長音階

3. 變ホ調長音階

4. 變イ調長音階

5. 變ニ調長音階

6. 變ト調長音階

7. 變ハ調長音階

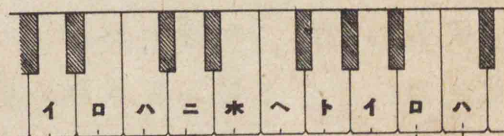
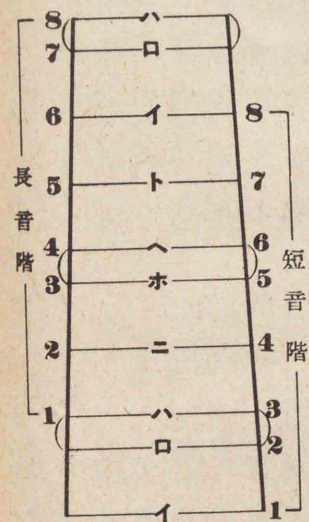
因に變種長音階の調子記號中、其の最終の變記號の位置は其の音階の第四度の位置に該當するが故に、之によつて容易に其の音階の何調なるかを測知することが出来る。尙變記號二個以上のものにあつては、其の最終の變記號直前の變記號の位置が同音階の第一度の位置である。

7. 音階 (其の三)

基礎短音階 音階中、長音階の第六度より其の上方

八度の同名音にいたる八音の音列と全く同一のものは之を基礎短音階と稱し、各種の短音階の基礎となるものである。

然して斯くの如く互に共通の音によつて組み立てられてゐて、最も密接な關係にある長短兩音階は之を關係調と稱し、



ハ調長音階

1調基礎短音階

常に同一調號を有するものである。次に其の數例を掲げる。



和聲的短音階 基礎短音階の第七度を變化記號によつて半音程上昇させて、音階の第七度第八度間を半音程としたものは之を**和聲的短音階**と稱する。



旋律的短音階 和聲的短音階の上行に於て、第六度第七度間に生ずる増二度音程の進行を避けんが爲に、其の第六度を變化記號によつて半音程上昇させたものは之を**旋律的短音階**と稱し、其の下行に於ける第六度及び第七度は概ね基礎短音階のそれと同一である。



短音階の性質は長音階のそのの莊重快活なのに對して沈靜優雅である。(歌曲「秋の古城」「秋草」「角笛」等參照)

8. 裝飾音

樂曲の興趣を扶けんがために、旋律中の或音符に小音符又は記號を附記して技巧的に其の奏法を變化させるのは、之を旋律の裝飾と稱し、其の裝飾的に附加された音を**裝飾音**と稱する。次に其の數例を掲げる。



此の記法は近代に於ては殆ど使用されない。最初から奏法の如くに記譜されるのを常とする。



9. 反復記號の用例



(1)後のセーニョの處から始のセーニョの處に反復し終止記號 \parallel に於て終らせる。(2)後の D.C. の處から曲首に反復し, *Fine.* に於て終らせる。(3)曲尾から曲首のセーニョの處に反復し終止記號 \parallel に於て終らせる。

因に、セーニョは *segno* 「記號」の意, D.C. は *da capo* の略で「最初から(反復せよ)」の意, D.S. は *dal segno* の略で「記號から(反復せよ)」の意, *fine* は「終」の意である。

10. 轉 調

樂曲が其の途中に於て他の調に移り行くのは之を轉調と稱し、轉調に於ては常に新調の構成に必要な變化記號の使用されるものである。次に之を例示する。



尙轉調中其の最も多く行はれるものは、長調に於ては其の調の第五度上の長調に、短調に於ては其の關係長調に移り行くものである。

11. 人聲の區域

人聲は之を其の音域によつて下表の如く四種に區別することが出来る。



soprano と alto とは通常女聲であり, tenor と bass とは男聲である。

12. 速度標語の表 (第一編より續く)

樂曲の途中に於て速度の變化を示すもの

標 語	略 號	訓 み 方	意 義
ritenuto	riten.	リ テ ヌ ー ト	本 來 の 速 度 よ り も 幾 分 遅 く
tempo I		テ ン ボ ブ リ ー モ	始 の 速 度 に て

他の標語の意味を限定するために用ひられる標語

標語	訓み方	意義
assai	アッ サ イ	充 分 に
molto	モ ル ト	極 め て
non troppo	ノ ン ト ロ ッ ボ	甚 だ し く な く

13. 發想標語並に發想記號の表

標語	略號又は記號	訓み方	意義
agitato		ア チ タ ー ト	激 し て
alla marcia		アルラ マル チ ャ	行 進 曲 風 に
cantabile		カ ン タ ー ビ レ	歌 ぶ が ご と く 表 情 豊 かに
comodo		コ モ ド	氣 樂 に
con moto		コ ン モ ト	い き い き と
con spirito		コ ン ス ピ ー リ ト	精 神 を こ め て
dolce		ド ル チェ	柔 かに
grave		グ ラ ー ヴェ	莊 重 に
grazioso		グ ラ ツィ オ ー ソ	高 雅 に
legato		レ ガ ー ト	圓 滑 に
sostenuto		ソ ス テ ヌ ー ト	音 符 の 歷 時 を 充 分 保 ち て
vivace		ヴィ ヴァ ー チェ	快 活 且 迅 速 に

附 録

[鑑賞参考曲]

葡萄園丁の合唱

Mendelssohn 作
歌劇「ローレライ」中の
合唱曲によって
編者者編曲

Allegro.

一 トシツキ ツチカ フ イサヲアラ ハーレ
二 るりとも みまが ふ ふさもたわ わーに

ソノフノブダウ
ハイロモクロゲ ロ またまとみのれ
つまんはこのあ さ

ハる ノビニノビ ユー キ ツヤメキシゲレ
ふさもたわ わーに と き こ そ き に け

サ ガルソノ フ サ
な るるの 外 さ

リ れ ル カ リトヒカ レリ タ ノシ
か ぜにゆれ けり た のし

ヤ コトシノナ ツ ノ ウレ シー ヤ マレノミノ
や ことしのな つ の うれ しー や まれのみの

リ トレ トレ テナレノテ カゴヲツメ ツ
り とれ とれ てなれのて かごをつめ つ

メ ルリナスソノミヲウタ モ ホ ガ ラー ニ
め るりなすそのみをうた も ほ が らー に

葡萄園丁の合唱

一年月培ふ 功表はれ

園生の葡萄は 伸びに伸び行き

葉色も黒黒 つやめき繁れり

下がるその總 瑠璃と光れり

樂しや 今年の夏の

嬉しや 稀のみのり

とれとれ 手馴の手籠を

摘め摘め 瑠璃なすその實を

歌も ほがらに

二 瑠璃とも見紛ふ 總もたわわに

眞玉とみのれる 總もたわわに

摘まんはこの朝 時こそ來にけれ

垂るるその總 風に搖れけり

樂しや 今年の夏の

嬉しや 稀のみのり

とれとれ 手馴の手籠を

摘め摘め 瑠璃なすその實を

歌も ほがらに

森 迫 武

[鑑賞参考曲]

朝の調

Lehar 作
喜歌劇中のワルツによって
編著者 編曲

Moderato.

p(Chorus)

ア ヲ ゾ ラ ハ レ テ ウ ラ ラ ニ ー

ソ ヲ カ ゼ キ ヨ ク ソ ヲ ゲ バ ー

コ ズ エ モ サ ヤ ニ サ サ ヤ キ テ ー

コ ト リ ハ ウ タ フ ア サ ノ ウ タ

(Solo) *pril.* Lento.

ク ラ キ ヨ ル モ イ マ ハ ア ケ テ ウ レ ヒ ミ テ

pp

ル コ コ ロ モ ハ レ タ リ ノ ゾ ミ カ ガ ヤ ク

サ ヤ ケ キ ア シ タ ヲ イ ザ ヤ ト モ ニ タ

Tempo I.
p(Chorus)

タ ヘ ン ー ハ ズ エ モ サ ヤ ニ ユ

ラ キ テ ー キ ラ ラ ニ ヒ カ

リ ヲ ド レ バ ー ヨ ロ コ ビ

ム ネ ニ ワ キ ア フ レ ー

コ エ ア ゲ ウ タ フ ア サ ノ ウ ー タ

[鑑賞参考曲]

碧きドナウ

Tempo di Valse.

Strauss 作
同名のワルツによって
編著者 編曲

(Chorus) *p*

ミドリノ ヤ
ミドリノ ヤ マーカゲ
マカゲ シツカニ
シツカニ ウカーベ
ウカベテ ヨウヨウ
テ ヨウヨウ カ
カウカウ カガミナセールド
ウーカウ

朝の調

古關 吉雄

青空晴れて 麗に
微風清く そよげば
梢もさやかに 囁きて
小鳥は歌ふ 朝の歌
暗き夜も 今は明けて
憂満てる 心も晴れたり
望輝く さやけき朝を
いざや共に 讚へん
葉末もさやかに 揺らぎて
きららに 光躍れば
喜胸に 湧き溢れ
聲あげ歌ふ 朝の歌

碧きドナウ

近藤 壽

緑の山影 静かに浮べて
溶溶浩浩 鏡なせるドナウの川の面
空高く鳥歌ひ 和するは浪音
美はしや妙なりや あはれ神の巧
語れや浪 映せや水
過ぎにし 昔のその人 その態
夕陽沈みて この世の萬物
黒き帷に 包まれては
月の光 影をさして
黄金の波 踊るままに
旅行く人 杖をとどめ
夜もすがら 我を忘る
緑の山影 静かに浮べて
溶溶浩浩 鏡なせるドナウの川の面

I. II. *Fine.*
 ナーウノカハノモ ハノモ

p ソラタカク トリウタヒ *f* ワスルハ

p ナミオト ウルハシヤ タヘナリヤ

アハレカミノタクミ *mf* タレヤナカ

ウツセヤミツ スギニ
 タレヤナミウツセヤミツスギニ

シヨノ
 シムカシノソノーヒトソノサマ

(Solo) *p dolce*
 セキヤウシツミテコ

ノヨノモノミナクローキト

cresc. *f*
 バーリニツツマレテハ

(Chorus) *p*
 ツキーノーヒカリーカゲヲサシテ

コーガネーノーナーミ ーヲドル ママニ

タービュークヒート ツエヲトドメ ヨーモース

ヲワスル
 ガーラ タタズム *D.C.*

[鑑賞参考曲]
 シューベルトの行進曲

Tempo di marcia.

Schubert 作
 ピアノ曲「軍隊行進曲」によって
 編者編曲

カゼモキヨクソラハレーテ
 ワカキココロイトータノーシ
 アシナミモカロク ススミ ユケバ
 ムレウタフトリノ コエホガラ
 ラウタヘヤ ラララララ ラララララ
 ウタゴエタノシク ラララララ ラララララ

(口繪寫眞参照)

(Solo)

イサミテ ススメヤ イザヤ ウタヘ コエタ
 カ---クワ カキチ シホム ネニア
 (Chorus)
 フ---レマユ アゲア フーグソラ ハールーカ
 ヒカリ サヤニ ミチナ ガーレ ソラハ
 アヲク スミワタール ウタゴエモ タカク
 ススミ ユケバ ミチノベニ ハナハ サキニホ
 (I. II. Fine)
 ララララ ラララララ フ

Trio. *p*

キ タ レ ヤ ワ ガー ト モー ヨ タ ノ シ ク

ウ デー ク ミー テ イー ザー ユ カ マ シ ノ ゾ ミ ニ カ ガ ヤ ク

p

ソ ラ ヒ ロ ク ワ カー キー ムー ネー ニー ア ク ガ レ ワ キ ア フ ル

p

ノ ベ ユ キ ヲ カー ベ ユー キー ウー ター ヒ ア ユ ム

ウ レー シ サー ヨ トー モー ト ツ ド ヒ サ マー ヨ ヘー

cresc.

バ モ ノ ミ ナ タ ダー ター シ ワ レ ラ ノ

p cresc. *D.C. al Fine.*

フ ミ ユ ク ト コ ロ ツ ネ ニ ハ ナ ハ サ キ カ ラ ル

シューベルトの行進曲

「風も清く 空晴れて

若き心 いと楽し

足並も軽く 進み行けば

群れ歌ふ 鳥の聲ほがら」(復唱)

歌へや ラララ、

「歌聲楽しく ラララ、

勇みて進めや

いざや歌へ 聲高く

若き血潮 胸に溢れ

眉あげ仰ぐ 空遙か

光さやに 満ち流れ

空は青く 澄み渡る

歌聲も高く 進みゆけば

古 關 吉 雄

道の邊に 花は咲き匂ふ」(復唱)

ラララ、

「來れや わが友よ

楽しく 腕組みて

いざ行かまし

望に輝く 空廣く

若き胸に 憧憬湧き溢る」(復唱)

野邊行き 丘邊行き

歌ひ歩む 嬉しさよ

友と集ひ さ迷へば

物皆 ただ樂し

我等の踏み行く處

恒に花は咲き薫る

My old Kentucky home.

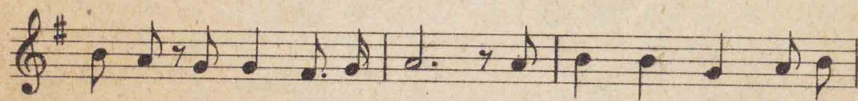
(ケンタッキーの我が家)

Andante.

Foster.



1. The sun shines bright in the old Ken-tuck-y home, 'Tis—
2. They hunt no more for the pos-sum and the coon, On the
3. The head must bow and the back will have to bend, Wher-



sum-mer, the dark-ies are gay; The corn-top's ripe and the mead-ow, the hill and the shore; They sing no more by the ev-er the dark-ey may go; A few more days, and the



meadow's in the bloom, While the birds make mu-sic all the glim-mer of the moon, On the bench by the old cab-in trou-ble all will end, In the field where the sug-ar-canes—



day; The young folks roll on the lit-tle cab-in floor, All door; The day goes by like a shad-ow o'er the heart, With grow; A few more days for to tote the wear-y load, No



mer-ry, all hap-py and bright; By'n-by hard times comes a-sor-row where all was de-light; The time has come when the mat-ter, 'twill nev-er be light; A few more days till we



knocking at the door, Then, my old Ken-tuck-y home, good-night! darkies have to part, Then, my old Ken-tuck-y home, good-night! tot-ter on the road, Then, my old Ken-tuck-y home, good night!

(Chorus)



Weep no more, my la-dy, O weep no more to -



day! We will sing one song for the old Ken-tuck-y home,



For the old Ken-tuck-y home, far a-way.

If a body find a lesson.

(學課は難くとも)

Andante.

Old Scotch Song.



1. If a bo-dy find a les-son Ra-ther hard and

2. If a bo-dy scan his les-son With a stea-dy



dry ; If no-bo-dy comes to "show" him

eye, All its hard-ness he will con-quer,



Need a bo-dy cry ? If he's lit-tle

Con-quer by and by Then how nice-ly



time to stu-dy, Should he stop and sigh ?

he'll re-peat it, Face not all a wry !



Ere he says, "I can-not get it," Ought he not to Try ?

Ne'er a-gain he'll say "I can-not," But will go and Try !

Old black Joe.

(老僕ジョー)

Poco adagio.

Foster.



1. Gone are the days When my heart was young and gay ; —

2. Why do I weep when my heart should feel no pain? —

3. Where are the hearts once so hap-py and so free? The



Gone are my friends from the cot-ton-fields a-way ;

Why do I sigh that my friends come not a-gain ?

chil-dren so dear that I held up-on my knee ?



Gone from the earth to a bet-ter land I know,

Griev-ing for forms now de-part-ed long a-go,

Gone to the shore where my soul has longed to go,



I hear their gen-tle voi-ces call-ing, "Old Black Joe!"



I'm com-ing, I'm com-ing, For my head is bend-ing low ;



I hear those gen-tle voi-ces call-ing, "Old Black Joe!"

Massa's in de cold, cold ground.

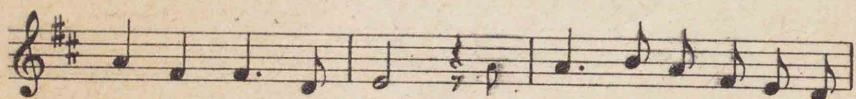
Moderato.

(あるじは冷たい土の中に)

Foster.



1. Round de mead-ows am a - ring - ing De
2. When de au - tumn leaves were fall - ing, —
3. Mas - sa make de dark - ies love him, —



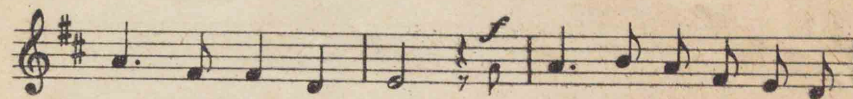
dark - ies' mourn - ful song, — While de mock - ing bird am
When de days were cold, 'Twas hard to hear old mas - sa
Cayse he was so kind; — Now dey sad - ly weep a -



sing - ing, Hap - py as de day am — long; —
call - ing, Cayse he was so weak and — old; —
bove him, Mourn - ing cayse he leave dem be - hind; I



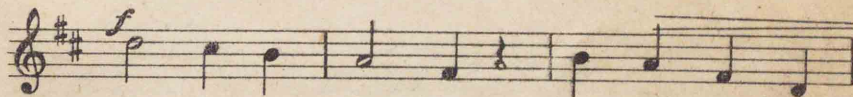
Where de i - vy am a - creep - ing,
Now de or - ange - trees am bloom - ing,
can - not work be - fore to - mor - row,



O'er de grass - y mound, — Dare old mas - sa am a -
On de sand - y shore, — Now de sun - mer days am
Cayse de tear - drops flow, I try to drive a - way my



sleep - ing, Sleep - ing in de cold, cold ground.
com - ing, Mas - sa neb - ber calls no more.
sor - row, Pick - in' on de old ban - jo.



Down in de corn - field, Hear dat mourn - ful



sound: All de dark - ies am a - weep - ing,



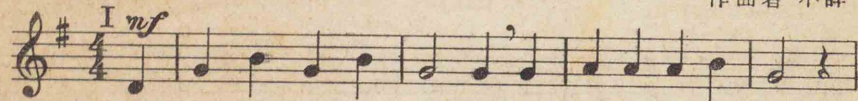
Mas - sa's in de cold, cold ground.

Awake from sleep.

Allegretto:

(眠を覺ませ)

作曲者 不詳



A - wake from sleep and dream-ing; The cuck-oo calls a - way;



See, on the moun-tain gleam-ing, Ap - pears the morn-ing ray.



A - wak - en from sleep and dream-ing;



Ap - pears now the morn - ing ray.



Cuck - oo, cuck - oo, cuck - oo,



cuck - oo, cuck - oo, cuck - oo!

Santa Lucia.

(サンタ・ルチア)

Cottrau.

Andantino.



1. See where the star of eve Beams gen-tly yon - der, See where from

2. See; see, how fair it is, There in mid - o - cean, Rocked by the



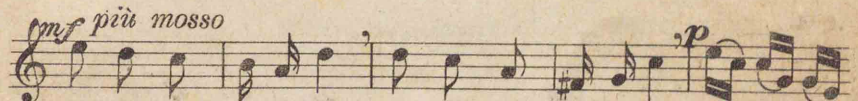
wave to wave Soft breez - es wan - der; Far down the sil - ver track,

sil - ver waves With gen - tlest mo - tion; All sunk in peace and rest,



Twilight is fall - ing, Far, oh, so far a - way, Sweet songs are call - ing.

All sweet - ly dream - ing, Now thro' the deep'ning night Moonlight is streaming.



Come, then, ere night is dark, Come to my bound - ing bark, San - ta Lu -

Come then, ere night is o'er, Come, leave the nois - y shore, San - ta Lu -



ci - a, San - ta Lu - ci - a. Come, then, ere night is dark,

ci - a, San - ta Lu - ci - a. Come, then, ere night is o'er,



Come to my bound - ing bark, San - ta Lu - ci - a, San - ta Lu - ci - a.

Come, leave the nois - y shore, San - ta Lu - ci - a, San - ta Lu - ci - a.

La Marseillaise.

Allegro marziale. (佛蘭西國歌)

Rouget de l'Isle.



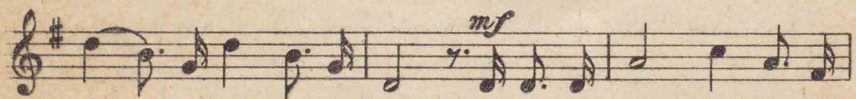
Al - lons, en - fants de la pa - tri - e, Le jour de
ア ロ-ン ザン フ-ン トリ- ヲ ル ジ-ル フ



gloire est ar - ri - vé ! Con - tre nous de la ty - ran -
グロワ-ル エ- タ- リ ヴ- コ-ン トル ヌ- フ ラ- ラ- ラン



ni - e L'é - ten - dard san - glant est le - vé ! L'é - ten -
ニ- ウ- レ- タン ダ-ル サン グラ-ン タ- ル ヴ- レ- タン



dard san - glant est le - vé ! En - ten - dez vous dans les cam -
ダ-ル サン グラ-ン タ- ル ヴ- アン タ-ン デ ヴ- ダ-ン レ- カン



pa - gnes, Mu - gir ces fé - ro - ces sol - dats ? Ils
パ- ニュ ズ ジ-ル セ- フェ-ロ-ス ヴル ダ- イル



vien - nent jus - ques dans nos bras E - gor -
ヴィ-ン-ン ヌ- ジ-ク ス ダ-ン ノ-ス ブラ- エ-ゴ-ル



ger nos fils, nos com - pa - gnes ! Aux ar - mes, ci - toy -
ジ-ル ノ-ス フィル, ノ-ス コ-ン パ-ニユ- オ-ム ザ-ル シ-トワイ



ens ! for - mez vos ba - tail - lons ! Mar -
エン ! フ-メズ ヴ-ス バ-タイル-ルン ! マ-ル



chons ! mar - chons ! qu'un sang im -
ショ-ン ! マ-ル ショ-ン ク-ン サン イム-



pur a - breu - ve nos sil - lons !
ピュ-ア-ブレイ-ヴ ノ-ス シル-ルン !

Deutschland über Alles.

ドイツ ユーベル アールス

Moderato.

(獨逸國歌)

Haydn.



Deutschland, Deutschland ü - ber Al - les, ü - ber Al - les
 ドイチュランド ドイチュランド ユーベル アールス ユーベル アールス



in der Welt; wenn es stets zu Schutz und Trut-ze
 イン デール ワーלט ヴェン エス シュツプ ツー シュツツ トロツト ツー



brü - der - lich zu - sam - men - hält. Von der Maas bis
 ブリュデーリッヒ ツーザンメンハールト ヴン デー マース ビス



an die Me - mel, von der Etsch bis an den Belt:
 アン ディー メーメル ヴン デー エツツヒス アン デン ベルト



Deutsch - land, Deutsch - land ü - ber Al - les,
 ドイチュランド ドイチュランド ユーベル アールス



ü - ber Al les in der Welt!
 ユーベル アールス イン デー ワールト!

1979.11.8

發行所

東京市麹町區飯田町二丁目二十番地
 中等學校教科書株式會社
 日本出版文化協會會員番號 一七五二二

印刷者

東京市麹町區飯田町二丁目十四番地
 愛宕印刷株式會社
 代表者 渡邊丑之助

發行者

東京市麹町區飯田町二丁目二十番地
 中等學校教科書株式會社
 代表者 山本慶治

著作者

若狹萬次郎

昭和十四年九月二十六日
 昭和十四年九月二十六日
 昭和十四年九月二十六日
 昭和十四年九月二十六日
 訂正再版發行
 訂正再版發行
 訂正再版發行
 訂正再版發行

訂改新女子音樂教科書第二編
 定價金六拾七錢

(略名) 共益若狹女音樂二

配給元 日本出版配給株式會社
 東京市神田區淡路町二丁目九番地

広島大学図書

0130449451



教科

42

013